

「四国の運輸のあり方」フォローアップ【観光編】

平成26年3月

番号	答申内容	施策名	具体的実施内容	進捗状況及び実施計画	担当部課・実施主体 ()内は外部実施者
2 2	<p>観光2-1-(1) 個性ある「観光まちづくり」理念の確立推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくりの具体的な手法、地域資源の活用等個性ある観光まちづくりの理念の確立と推進 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり実践プランへの支援 観光ルネサンス事業による観光地支援 観光ビジョンの策定 観光まちづくりコンサルティング事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。 観光活性化に取り組む民間の活動と行政が一体となって、外国人観光客の受け皿となる地域の観光振興を総合的に支援する。 地域の観光の将来像としての観光ビジョンを策定する。 国際競争力のある観光地域づくりの推進に向けて地域と旅行会社との連携・協働により地域の観光魅力を発掘・増進させ、あらたな企画旅行商品として流通を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 16年度に南予広域連携観光交流推進協議会、四万十川広域観光推進協議会、東備讃瀬戸観光懇談会の3団体が選定。 17年度にこびら地域まちづくり型観光推進協議会が選定。 18年度に秘境・四国のへそ三好観光交流推進協議会が選定。 19年3月に琴平町において「ボランティアガイド研修会」を実施。 19年度南阿波観光振興協議会が選定。 今後5年間にわたり、総合的に支援。 20年度上勝アート里山の彩生研究会が選定 17年度及び18年度の観光ルネサンス事業 に、(財)松山観光コンベンション協会の「宵まち歩き☆道後旅情」が選定。 17年3月に高知県観光ビジョン策定。 20年3月に高松市観光振興計画を策定。 21年6月に「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」制定。 22年4月に「えひめお接待の心観光振興条例」施行。 22年3月に「徳島県観光振興基本計画」策定 23年3月に「愛媛県観光振興基本計画」策定。 25年10月に「高松市観光振興計画(2013～2015)」策定 26年3月に高知市観光振興計画を策定 21年度に内子町において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催。 22年度に愛南町において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催。 23年度に阿南市において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催 24年度に三豊市及びいの町において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催 25年度に観音寺市において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体) 企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会) 企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体)
2 3	<p>観光2-1-(2) 地域の魅力の再認識と地域ぐるみ型観光の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の産業振興、地域住民の生き甲斐づくり、生活環境整備等行政、事業者、住民等が参画した地域ぐるみ型観光の取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり実践プランへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。 公共交通活性化総合プログラムの活用により、地域関係者を一堂に会し、地域ぐるみで観光に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 南予広域連携観光交流推進協議会において 南予ボランティアガイドパワーアップ調査事業を実施(17年3月)。 四万十川広域観光推進協議会においてイルカの里づくり調査(17年3月)、柏島フィールドガイドブック作成事業調査(17年3月)を実施。 18年度に愛媛県南予地域及び高知県西南部の地域を対象に、地域の関係者の参画を求め、観光交流の拡大に向けて検討を行う四国西南部活性化委員会を設置。 19年度に造成した「さいはて切符」を活用してモニターツアーを実施。地域の情報発信のためのパンフレットやHPの作成公開を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体) 企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (交通事業者) (観光事業者)

・全国都市再生モデル調査による支援

・まちづくり型観光事業の推進

・先導的な都市再生活動に取り組む地域を全国都市再生モデル調査で支援する。

・地域住民による、地域の資源を発掘し、磨き上げる「まちづくり型観光」事業を推進する。

・17年度に「発光ダイオードで広がる阿南光のまちづくり」調査を実施。
・18年度に「地域ブランドと『劇場型観光ガイド』を活用した『引田町並みまるごと観光』実現のための検討調査」を実施。
・19年度に「海洋深層水とタラソセラピーによる室戸「癒し」のまちづくり」調査を実施。

<徳島県内>

・徳島市において「とくしま観光おもてなし会議」を開催した。テーマは着地型観光プランの造成について。既存の体験ツアー等の観光素材を旅行業関係者にモニターしてもらい、着地型観光商品としての可能性を探る。(徳島市)

・「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき、22年3月に定めた「阿波とくしま観光の日(10月9日)・「阿波とくしま観光週間(10月9日を含む月曜日から日曜日の1週間)」を記念するイベント「とくしま祭り」を22年10月～12月に開催。(徳島県)

・「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき、22年3月に定めた「阿波とくしま観光の日(10月9日)・「阿波とくしま観光週間(10月9日を含む月曜日から日曜日の1週間)」を含めた期間で「とくしま祭り」を23年10月～24年1月に開催。(徳島県)

・第4回目となった、とくしまマラソン2011は、当初、東日本大震災の影響で開催が延期となったが、11月6日に「東日本大震災復興支援チャリティ」として開催した。(徳島県)

・23年度に徳島市の中心市街地周遊型アニメイベント「マチ☆アソビ vol.6」(5月3日～5日)、「マチ☆アソビ vol.7」(9月23日～10月10日)を開催。(徳島県)

・「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき、22年3月に定めた「阿波とくしま観光の日(10月9日)・「阿波とくしま観光週間(10月9日を含む月曜日から日曜日の1週間)」を含めた期間で「とくしま祭り」を24年10月～25年1月に開催。(徳島県)

・第5回記念大会となった、「とくしまマラソン2012」を24年4月22日に開催。(徳島県)

・24年度、徳島市の中心市街地周遊型アニメイベント「マチ☆アソビ vol.8」(5月3日～5日)、「マチ★アソビ vol.9」(9月22日～10月8日)を開催。(徳島県)

・家族で楽しめるアニメイベントをコンセプトにした「ぷち★アソビ」(25年2月23日～3月20日)を開催。(徳島県)

・24年5月、瀬戸内海の広域観光で連携する「瀬戸内ブランド推進協議会」を設立。(徳島県は10月から参加)(徳島県)

・中四国で初開催となる、体験型観光の先進地や自治体、観光産業関係者らが一堂に集まる「第9回全国ほんもの体験フォーラムin徳島」を25年3月16～18日に開催。(徳島県)

・徳島市の伝統芸能であり、全国に誇るべき観光資源である阿波おどりを次代に継承していくために、25年度より新たに市内の小学生を対象に、阿波おどりの有名連を講師に、年間を通じて阿波おどりの歴史・文化・踊り方を学ぶ「阿波おどり育成出前講座」を実施した。(徳島市)

・25年10月よりパスポート型のスタンプラリー「おどる宝島!パスポート」をスタートした。(徳島県)

・第6回となった、「とくしまマラソン2013」を25年4月21日に開催。(徳島県)

・徳島市の中心市街地周遊型アニメイベント「マチ★アソビ vol.10」(5月3日～5月5日)、「マチ★アソビ vol.11」(9月28日～10月14日)を開催。(徳島県)

・家族で楽しめるアニメイベントをコンセプトにした「ぷち★アソビ」(26年3月29日～3月30日)を開催。(徳島県)

<香川県内>

・小豆島産業観光

企画観光部観光地域振興課
(地元自治体)
(観光協会)

(地元自治体)
(交通事業者)
(観光協会)
(協議会)

- 地場産業を活用した町歩きや作業見学のしくみづくりの支援（17年度）
- ・むれ源平石あかりロードなど、これまで育成してきたものに加え、高松市中心部のまち歩きをする「たかまつ松平藩まちかど漫遊帖」、志度の門前町をガイドの説明を聞きながら歩く「志度歴史がたり」、丸亀市内と琴平町榎井地区にて計7コースのまち歩き「ちょっと寄り道・こんびら街道」などを実施。（18年度）
 - ・既存の観光地ではなく、隠れた観光資源をガイドして歩く、まちかど漫遊帖を実施。（高松市）（18年～）
 - ・19年度に県下52コースを紹介したスローツーリズムガイドマップを作成し、ツアーを実施。（香川県）
 - ・県下54コースを紹介したスローツーリズムガイドマップ（20年3月～6月）を作成。
 - ・まち歩き88コースを紹介したガイドブックを作成。（20年9月～12月）（香川県）
 - ・20年度に「まち歩きツアー・ことでん萌え」を春と秋の計6回開催。（高松琴平電気鉄道）
 - ・21年4月～12月にこれまで取り組んできた「まちづくり型観光」の成果として、「09香川まちめぐり てくてくさぬき」を開催、地域の祭りやイベント等地域独自の魅力や地域住民が主体となって磨き上げてきた「まち歩き」など、新しく創造した地域の魅力を披露した。（香川県）
 - ・21年12月に全国初の「全国まちあるき観光サミット」を善通寺市内で開催、全国各地からまち歩き団体が参加、意見交換等を行った。（香川県）
 - ・瀬戸内国際芸術祭開催（22年7月～10月）（香川県）
 - ・「香川県まちづくり観光サミットin三木」を開催、県内の「まち歩き」実践団体等や一般の方々が参加し、基調講演の後、事例発表や意見交換を実施した。（香川県観光振興課）
 - ・里山をボランティアガイドと歩く「IruCaファミリーウォーク」を22年度に5回、23年度に5回実施。（ことでんバス）
 - ・23年度、まち歩きを紹介する「てくてくさぬき」春・夏・秋号を作成。（香川県観光振興課）
 - ・23年10月に「香川県まちづくり観光サミットin観音寺」を開催し、まち歩き団体が参加して講演・意見交換を行った。（香川県観光振興課）
 - ・24年度にまち歩きを紹介するパンフレット「てくてくさぬき」春・夏・秋号を作成。（香川県観光振興課）
 - ・25年2月に、香川県まちづくり観光サミットinさぬき市を開催し、まち歩き団体が参加して講演・意見交換を行った。（香川県観光振興課）
 - ・里山をボランティアガイドと歩く「IruCaファミリーウォーク」を24年度に5回実施。23年度は6回を計画し5回実施済み。（ことでんバス）
 - ・25年度にまち歩きを紹介するパンフレット「てくてくさぬき」春・夏・秋号を作成。（香川県観光振興課）
 - ・26年2月に香川県まちづくり観光サミットin多度津町を開催し、まち歩き団体が参加して講演・意見交換を行った。（香川県観光振興課）
 - ・25年度「IruCaファミリーウォーク」6回を計画し、5回実施済み（ことでんバス）
 - ・瀬戸内国際芸術祭の開催にあわせ、屋島山上シャトルバスを25年3月20日から11月4日の間、土・日・祝日のみJR高松駅まで運行した。（高松市）

- ・瀬戸内国際芸術祭の開催期間中の会期外においても、女木島・男木島にて、一部、継続して作品展示を行った。(高松市)
- ・牟礼・塩江地域において、瀬戸内国際芸術祭に併せて開催された「かがわ・山なみ芸術祭」に協力した。(高松市)
- ・24年度および25年度において、瀬戸内国際芸術祭2013の関連事業として、屋島を舞台に太鼓や音楽を中心とした「現代源平屋島合戦絵巻」を開催した。(高松市)

<愛媛県内>

- ・坂の上の雲のまちづくり
松山城ロープウェイ駅舎改築、交流ホールのオープン、ロープウェイ街の道路景観整備(18年3月)、坂の上の雲ミュージアムの建設(19年4月オープン)
- ・えひめ町並博を契機とした地域主導の体験型メニューの支援(18年度)
- ・20年度に「ふるさと ふれあい塾」…松山商工会議所、松山大学と連携しながら、観光コンシェルジュ講座を実施し、条件を満たした受講者に対しては「松山コンシェルジュ中級」の認定を実施。【観光おもてなし対策事業】(松山市)
- ・21年度に「にきたつの路」において朝市を月1回開催し、元気で明るい活力がある道後づくりを図り、観光客への賑わいづくりの一つとして、道後の新たな魅力の一つとして定着しており、積極的に支援を図る。【にきたつの路日曜日開催事業】(松山市)
- ・松山観光文化コンシェルジュ講座(ふるさとふれあい塾)
松山大学と連携し、観光客を「おもてなしの心」を持って迎えるホスピタリティの向上と、松山の魅力について自信を持って案内できる人材の育成を目的に、学生及び一般市民を対象とした公開講座を実施。(講座開催全12回 参加者210名)【観光おもてなし対策事業】
- ・地域と協力して「にきたつの路」において朝市を毎月1回開催し、観光地の賑わいを創出し、元気で明るい活力がある道後づくりを図る。【にきたつの路日曜日開催事業】(松山市)
- ・松山観光文化コンシェルジュ講座(ふるさとふれあい塾)
松山大学と連携し、観光客を「おもてなしの心」を持って迎えるホスピタリティの向上と、松山の魅力について自信を持って案内できる人材の育成を目的に、学生及び一般市民を対象とした公開講座を実施。(23年度講座開催全12回 参加者：学生56名、一般94名、合計210名)【観光おもてなし対策事業】(松山市)
- ・23年度、地域と協力して「にきたつの路」において朝市を毎月1回開催し、観光地の賑わいを創出し、元気で明るい活力がある道後づくりを図る。【にきたつの路日曜日開催事業】(松山市)
- ・松山観光文化コンシェルジュ講座(ふるさとふれあい塾)
松山大学と連携し、観光客を「おもてなしの心」を持って案内できる人材の育成を目的に、学生及び一般市民を対象とした公開講座を実施。(24年度講座開催全15回 参加者：学生37名、一般76名、計116名)(松山市)
- ・愛媛県南予地方の宇和島圏域を舞台に、「うみ・かわ・もり・ひと、楽園めぐり」をテーマに、地域が一体となって、150を超える多彩なイベントや体験プログラムからなる「えひめ南予いやし博2012」(24年4月22日～11月4日)を開催した。(愛媛県)
- ・24年10月、地域や住民一体で、広島県側とも連携し、しまなみ海道と周辺エリアの観光ブランドの向上と持続的・自律的な観光振興を目的とした戦略的観光プロモーション「瀬戸内しま博覧会」(仮称)の26年度開催に向けて、地元自治体や関係団体で構成する実行委員会を設立した。(愛媛県)
- ・25年1月、26年度に開催する「瀬戸内しま博覧会」(仮称)のメインイベントとなる「瀬戸内しまなみ街道・国際サイクリング大会」(仮称)を開催し、及びその前年にプレ大会を開催するため、地元

自治体や関係団体で構成する実行委員会を設立した。(愛媛県)

- ・松山観光文化コンシェルジュ講座 (ふるさとふれあい塾)
松山大学と連携し、観光客を「おもてなしの心」を持って迎えるホスピタリティの向上と、松山の魅力について自信を持って案内できる人材の育成を目的に、学生及び一般市民を対象とした公開講座を実施。(25年度講座開催全12回(座学) 参加者151名)【観光おもてなし対策事業】
- ・25年度に北条鹿島を中心とし、北条地域の活性化を目指し、地元団体が主体となったイベントを実施した。【鹿島賑わい活性化事業】(松山市)
- ・交流ボランティアのための語学講座
地域での交流やボランティア活動に市民の「外国語能力」を活かせるよう、語学とコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催し、ボランティアガイドとして活動してもらうなど、市民参加を促進する。(ボランティアガイド登録者数(現状値90名、25年度講座開催全90回 参加者:韓国語42名、中国語15名、英語174名、計231名)【(公財)松山国際交流協会運営補助事業】((公財)松山国際交流協会)
- ・25年10月20日、“日本初”の供用中の高速道路本線「しまなみ海道」を利用したサイクリング大会「サイクリングしまなみ2013」を開催し、2,560名が参加した。

<高知県内>

- ・NHK大河ドラマ放送「功名が辻」に合わせた土佐二十四万石博の開催(18年度)
- ・花・人・土佐であい博を開催(20年3月～21年2月)(高知県)
- ・土佐・龍馬であい博開催(22年1月16日～23年1月10日)(高知県)
- ・志国高知龍馬ふるさと博開催(23年3月5日～24年3月31日)(高知県)
- ・龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」の実施(23年4月1日コース等リニューアル)(高知市)
- ・23年11月に体験型観光モニターツアー「五台山夜景パノラマツアー」の実施(高知市)
- ・23年12月～24年1月、はりまや橋公園イルミネーションの実施(観光地であるはりまや橋の魅力向上)(高知市)
- ・龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」の実施(24年4月1日コース等リニューアル)(高知市)
- ・24年11月に体験型モニターツアー「五台山パノラマ夜景モニターツアー」の実施(高知市)
- ・24年12月～25年1月、「はりまや橋公園イルミネーションファンタジー」の実施(観光地であるはりまや橋の魅力向上)(高知市)
- ・25年4月高知よさこい情報交流館開館(観光客誘致、地域の連携強化等)(高知市)
- ・高知県幡多地域において、広域観光キャンペーン「楽しまん！はた博」を開催(25年7月～12月)(四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村)

・「ART SETOUCHI」の推進

- ・瀬戸内海の7つの島々と高松港周辺を舞台に、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」(22年7月31日～10月31日、105日間)開催した。(香川県観光振興課)
- ・「瀬戸内国際芸術祭2010」の作品を継続公開など、通年化を目指した誘客・情報発信活動として「ART SETOUCHI」事業を実施した。(香川県観光振興課)
- ・2010年に開催した瀬戸内国際芸術祭の継続作品の公開など、通年化を目指した誘客・情報発信活動として「ART SETOUCHI」事業を実施した。(香川県観光振興課)
- ・瀬戸内海の7つの島々と高松港周辺、そして新たに沙弥島を舞台にして現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2013:春シーズン」(25

		<ul style="list-style-type: none"> ・体験型修学旅行の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型修学旅行の誘致により、地域ぐるみで観光に取り組む。 	<p>年3月20日～4月21日)を開催開始した。(香川県観光振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海の7つの島々と高松港周辺、そして夏は伊吹島、秋は本島・高見島・粟島を新たな舞台として現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2013：夏シーズン」(25年7月20日～9月1日)「瀬戸内国際芸術祭2013：秋シーズン」(25年10月5日～11月4日)を開催した。(香川県にぎわい推進課) ・体験型修学旅行として、「南阿波よくばり体験」を行っており、自然体験・島体験・漁業体験等々、多種の体験学習を実施している。(牟岐町・美波町、海陽町) ・体験型修学旅行として、関東・東海地区から、松山市中島町へ誘致して地元の名産のみかん狩りや釣りなど地場産業の体験学習を実施。(高校生対象)(松山市・石崎汽船(株)・中島汽船(株)) ・体験型修学旅行として、前年と同様に松山市中島町へ誘致して地元の名産の「蜜柑狩り」や「釣り体験」など地場産業の体験学習を実施(高校生対象)主に東海地方、関東地方から誘致しており、来年度は昨年より若干引き合いが多くなっている状況。 ・「体験型修学旅行の誘致」 体験型修学旅行の誘致として、前年同様に実施結果10校、約2000名を誘致した。23年度もほぼ同数の誘致を見込む。(石崎汽船) ・「体験型修学旅行の誘致」 体験型修学旅行の誘致として、前年同様に実施 結果、倍の19校、約4500名を誘致した。25年度もほぼ同数の誘致を見込む。(石崎汽船) <p>“まつやま島博覧会2010” 「島民主体の博覧会開催による離島航路維持・活性化」 愛媛県松山市が瀬戸内海の中島、興居島など9つの有人島からなる忽那諸島を活性化させるため、島博覧会「しまはく」を22年4月から10月末まで開催。各島の隠れた資源を掘り起こし、多くの人に島の良さを知ってもらおうという企画。全部で約100のプログラムが用意され中でも「夫婦岩大注連縄張り&離島クルージング」や「しまはくフェスティバルin中島」など盛りだくさんの内容。期間中は隙間なく何らかの催し物が開催され。離島の魅力に多くの人達に接していただくため離島航路交通費の負担軽減策として、中島汽船(株)と行政の連携による「しまはく」期間中の体験型プログラム参加者に対して復路運賃無料化を実施。(愛媛県・松山市・松山離島振興協会・中島汽船(株)) (財)運輸政策研究機構 調査室「地域公共交通活性化事例集」より引用</p>	
2 4	<p>観光2-2-(1) 観光振興の核となる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する人材の育成 ・観光に関する総合的な教育研究機関の設置の推進 ・四国外の教育機関とのネットワーク化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化総合プログラムの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化総合プログラムを活用し、地域関係者が連携を図り地域ぐるみで観光に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・19年度、宇和島市、愛南町、宿毛市、大月町の2市2町で連携を図り、観光を切り口とした公共交通の利用促進を図るための対策を検討。 ・18年3月末現在四国の観光カリスマは7名となった。 ・17年度に愛媛県松野町において観光カリスマ塾を開催(17年12月)。塾長には観光カリスマ岡田春喜氏。 ・18年度に香川県琴平町において観光カリスマ塾を開催(19年2月)。塾長には観光カリスマ近兼孝休氏。 ・19年度に伊予市双海町において観光カリスマ塾を開催(19年11月)。塾長には観光カリスマ若松進一氏。 ・20年度に高知県馬路村において観光カリスマ塾を開催(20年11月)。塾長には観光カリスマ東谷望史氏。 ・香川大学と連携して質の高い観光ホスピタリティを学ぶ社会人向け講座を開設した。(高松市) 	<p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体)</p> <p>(観光カリスマ百選選定委員会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国語り部交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語り部（観光ボランティア等）の交流、連携を深め、ネットワーク化を推進し、また人材の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島市において、「長浜黒壁によるまちづくり」について講演会を開催した。講師には観光カリスマ笹原司朗氏。（徳島市） ・ 21年度に愛媛県内子町において観光カリスマ塾を開催（21年10月）。塾長には観光カリスマ野田文子氏。 ・ 22年度に愛媛県新居浜市において観光カリスマ塾を開催（22年11月）。塾長には観光カリスマ森賀盾雄氏。 ・ 23年度からは観光地方セミナーとして高知県室戸市において開催（23年11月）。講師は室戸ジオパーク推進協議会地質専門員の柴田伊廣氏。 ・ 24年度に徳島県三好市において地方観光振興セミナーを開催（25年3月）。講演の講師は（公財）日本交通公社主任研究員の山田雄一氏。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国観光検定試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国の観光に関する人材の質的向上を図るため、観光関係従事者や観光事業への就職希望者、ボランティアガイドなどを対象に四国の観光に関する専門的試験を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16年度は愛媛県内子町で開催。17年度は高知市で開催。18年度は徳島市で開催。19年度は新居浜市で開催。20年度は安芸市で開催。21年度は今治市で開催。22年度は松山市で開催。23年度は美馬市で開催するとともに、「四国語り部交流会だより」を発刊。24年度は西予市で開催。25年度は丸亀市で開催。 ・ 18年12月実施。受験者1209名のうち362名が合格。 ・ 19年12月実施。受験者889名のうち500名が合格。 ・ 20年12月実施。受験者632名のうち213名が合格。 	<p>企画観光部観光地域振興課 （歴史・文化道推進協議会）</p> <p>（四県観光協会）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人観光客に対する接遇向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設の従業員などの外国人に接する者に対する接遇の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17年3月に「外国人観光客おもてなし入門」を作成。 ・ 16年度に高松市と高知市で外国人旅行者接遇研修会を開催。17年度は徳島市と松山市で開催。 ・ 18年度に松山市でボランティア通訳ガイドを対象とした接遇研修会を開催。 ・ 外国語ガイドの接遇向上を図るため、英語圏留学生によるモニターツアーを実施（19年度） ・ 20年2月～3月に“おもてなし観光英会話教室”を実施。 ・ 19年度に鳴門市において観光関係従事者等を対象とした接遇研修会を開催。 ・ 20年度に高松市においてインバウンドビジネスに関心のある民間事業者等を対象とした接遇研修会を開催予定。 ・ 「観光国際化セミナー」…愛媛県、松山商工会議所と連携し、主に旅館・ホテルの従業員を対象に挨拶・応対を中心とした語学講座を実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市） ・ 「ようおいでたなもし松山キャンペーン事業」…タクシー乗務員に対する観光おもてなし研修（受講修了ステッカー配布）を実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市） ・ 22年2月、松山市において観光関係従事者等を対象とした訪日外国人受入接遇研修会を実施。 ・ 22年10月、松山市において、観光関連事業者を対象とし、地域独自の外国人訪日促進プロモーションの方策を検討する外国人訪日促進地域フォーラムを開催 ・ 23年2月、徳島市において観光関係従事者等を対象とした訪日外国人受入接遇研修会を実施 ・ 中国の春秋航空による高松～上海の定期チャーター便の運航を受けて、観光関連施設や商業施設従事者等を対象に、「中国人観光客受入おもてなし研修会」を開催した。（香川県観光振興課） ・ 23年2月下旬から3月上旬にかけて徳島市、高松市、松山市、高知市において観光関連従事者等を対象に、中国人観光客との実践コミュニケーション研修を実施 ・ 24年2月、徳島空港と長沙黄花国際空港との定期チャーター便就航を受けて、観光関連施設や商業施設従事者等を対象に、「中国人観 	<p>企画観光部観光地域振興課 企画観光部国際観光課 （地元自治体）</p>

光客接客コミュニケーション研修」を開催した。(徳島市)

- ・24年1月、徳島市において、中国人観光客に対するボランティア通訳等としての活動希望者を対象に、中国人観光誘客・通訳人材育成セミナーを開催。(徳島県)
- ・23年7月に高松市で「観光客おもてなし講習会」を開催した。(香川県観光振興課)
- ・「観光国際化研修」…観光業務に従事する旅館・ホテルの従業員を対象に、挨拶・応対を中心とした中国語の語学研修を実施。(23年度講座5回 参加者36名(予定))また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。【観光おもてなし対策事業】(松山市)
- ・「タクシー乗務員観光おもてなし研修」市内のタクシー乗務員に対して観光おもてなし研修を実施し、受講者には修了証とステッカーを配布した。(23年度受講者753名)【観光おもてなし対策事業】(松山市)(24年度事業廃止)
- ・24年7月に高松市で「観光客受入おもてなし講習会」を開催した。(香川県観光振興課)
- ・「観光国際化研修」：観光業務に従事する旅館・ホテルの従業員を対象に、挨拶・応対を中心とした中国語の語学研修を実施。(24年度講座6回、参加者25名(予定))また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。(松山市)
- ・24年高知市総合観光案内パンフレットの多言語化。英語、韓国語、繁体字、簡体字の4言語表記によるパンフレットを作成、配布した。(高知市)
- ・24年6月に「中国人観光客接客コミュニケーション研修」を開催。併せて、高知市内の事業者を対象に、各種注意書きなどの翻訳サービスを開始(24年6月～25年2月)。翻訳言語は、英語、韓国語、繁体字、簡体字の4言語。(高知市)
- ・25年12月に認定外国人観光案内所ブロック別研修会を実施。**資料3-5**
- ・「観光国際化研修」：愛媛県内の観光関係者を対象に、挨拶応対を中心とした中国語の語学研修を実施。(25年度講座6回、参加者33名)また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。(松山市)
- ・交流ボランティアのための語学講座
地域での交流やボランティア活動に市民の「外国語能力」を活かせるよう、語学とコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催し、ボランティアガイドとして活動してもらうなど、市民参加を促進する。(ボランティアガイド登録者数(現状値90名、25年度講座開催全90回 参加者：韓国語42名、中国語15名、英語174名、計231名)【(公財)松山国際交流協会運営補助事業】((公財)松山国際交流協会)

中国人観光客向けに、トイレの使い方やホテルでの過ごし方等、日本と中国の習慣の違いを中国語で解説した「徳島文明行動指南」(マナー冊子)を作成し、ホテル等に無償配布した。(徳島市)

- ・16年度に設立された協議会において、17年度には、松山大学で講演会及びシンポジウムを開催を開催。18年4月に企画振興部長が松山大学で講演会を開催。
- ・19年10月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・20年4月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・21年4月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・22年5月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・23年6月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・24年4月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。
- ・24年7月に四国運輸局長が松山大学で講演会を実施。

・外国人向けマナー冊子の配布

・産官学連携観光産業振興連絡協議会

・愛媛の観光産業に関わる行政機関、団体及び大学等の関係機関並びに関係者のネットワークを構築する。

企画観光部観光地域振興課
(松山大学)
(観光関係団体)
(観光関係事業者)

25	<p>観光2-2-(2) 来訪者の快適さの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の案内など初めて訪れた人にもわかりやすい観光客の立場に立った情報提供 快適に過ごせる「しかけ」づくり 地域の「もてなし」意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通事業者等における外国人観光旅客に対する案内情報提供 「観光活性化標識ガイドライン」のパイロットケース実施による支援 観光地域づくり実践プランへの支援 観光ルネサンス事業による観光地支援 観光客の受入れ態勢の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 外客誘致法の改正により、外国人の利用が見込まれる公共交通路線において、外国語による案内表示等の整備計画の策定、実施を義務付ける。 モデル的な地域で案内標識整備計画の策定を支援し、先進的な事例をつくるとともに、策定過程で改善すべき点があればガイドラインに反映させる。 単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。 観光活性化に取り組む民間の活動と行政が一体となって、外国人観光客の受け皿となる地域の観光振興を総合的に支援する。 「お遍路交流サロン」の設置 空港内に、お遍路に関する情報提供やお遍路同士の交流、情報交換の場として設置する。 香川ミニ観光案内所支援事業 自家用車を利用した観光客が安心して周遊できるよう、ガソリンスタンド等において、道路、観光施設、イベントなどの情報提供を行う。 観光客をおもてなしの心で迎える県民運動 	<ul style="list-style-type: none"> 25年10月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。 18年度に指定区間を運行する鉄道・バス事業者が情報提供促進実施計画を策定し、計画書を提出した。 17～18年度にかけて四国旅客鉄道が駅名のナンバリング化を実施。 伊予鉄道が松山空港及び松山観光港からのリムジンバスに多言語表示及び案内を実施。 20年度に香川県バス協会が高松駅前バス停の案内板の多言語表示を実施。 松山観光港ターミナルにおいて外国語案内表示を実施。(石崎汽船) 25年度に高松琴平電気鉄道が駅名のナンバリング化を実施。 17年度に松山市が選定され、18年2月、「まつやま道しるべマップ 標識検討協議会」において、案内標識整備計画の策定、ガイドラインの改善点の抽出等を行った。 18年度に徳島県観光部局所管の観光案内標識の改良を行った。 20年度にJR利用の観光客の利便性向上のため、JR高松駅構内に観光案内所(高松市インフォメーションプラザえきなかサテライト)を開設。(高松市) 南予地域においては、17年3月に南予ボランティアガイドパワーアップ調査事業を実施。 19年3月に琴平町で観光ボランティアガイド研修会を開催。 17年度及び18年度に選定された「宵まち歩き☆道後旅情」のライトアップ事業で、引き続きもてなしの向上を図る。 18年2月、松山空港にお遍路さんが白装束に着替える更衣室「お遍路さん着替えコーナー」、「憩いのスペース(お茶セルフ)」を設置。18年度は7月に高松空港、8月に徳島空港及び高知空港で同様の施設を設置。 17年度から、各種観光パンフレット等の提供や情報発基地として活用(ガソリンスタンド、コンビニエンスストアの86箇所で設置)。(香川県観光振興課) 19年9月に「高知県おもてなし県民会議」を立ち上げ、20年3月に高知おもてなしアクションプログラムを策定。 20年3月に、高知県おもてなし県民会議が、おもてなしフォーラムを開催(300人受講)。(高知県) 22年1月におもてなしフォーラムを開催(60人受講)。(高知県) 「瀬戸内国際芸術祭2010」開催により、県外観光客の大幅な増加が見込まれ、その対応として、観光関連施設従事者等を対象に、「おもてなし研修会」を開催した。(香川県観光振興課) 22年11月国際観光受入フォーラム開催(132名受講)(高知県) 23年2月国際観光受入個別研修開催(80名受講)(高知県) 24年2月に高知市(71名受講)及び四万十市(24名受講)において国際観光受入研修を開催(高知県) おもてなしトイレ認定制度実施(24年7月～) 24年9月に高知市(66名受講)及び四万十市(22名受講)において 	<p>企画観光部観光地域振興課 交通環境部消費者行政課 (交通事業者等)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (大阪航空局) (地元自治体) (観光協会) (旅行業者等) (NPO等地域関係者)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (協議会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会)</p> <p>(空港ビル)</p> <p>(地元自治体)</p> <p>(わがかがわ観光推進協議会)</p>
----	---	---	---	--	---

- 国際受入研修を開催（高知県）
- ・24年9月に土佐流おもてなしセミナーを開催（400名受講）（高知県）
- ・25年8月に高松市で「観光客受入おもてなし研修会」を開催した。（香川県観光振興課）
- ・瀬戸内国際芸術祭2013の開催期間中に高松を訪れた観光客等を対象に、玉藻公園において「さぬき匠の雫」や「高松城跡石あかりロード」などを実施。（高松市）
- ・25年度から高松城跡の魅力を発信するため、内堀において和船の乗船体験事業を実施した。（高松市）
- ・25年12月に「おもてなしセミナー」を開催（113名受講）（高知県）

- ・迷わず安心して旅行ができるよう「ひとり歩き点検隊」を実施する。

- ・国際線が乗り入れている松山・高松空港において、「ひとり歩き空港点検隊」を実施（20年1月）
- ・19年度に高知県において県内4地域で観光ガイド研修実施（192名受講）。
- ・20年12月、外国人による案内表示等の点検（ひとり歩き点検隊）をJR松山駅で実施。
- ・21年2月に観光ガイドセミナーを開催（101名受講）（高知県）
- ・21年12月に観光ガイドセミナーを開催（85名受講）（高知県）
- ・22年1月、外国人による案内表示等の点検（ひとり歩き点検隊）をJR高松駅～栗林公園間で実施。
- ・22年11月に訪日外国人旅行者の受入環境整備事業に係る調査（モニター調査等）を松山市を中心とするエリアで実施。
- ・23年1月に調査の結果をもとに関係者会議を開催。
- ・23年2月に観光ガイドセミナーを開催（176名受講）（高知県）
- ・23年10月に観光ガイドセミナーを開催（103名受講）（高知県）
- ・24年11月に観光ガイドセミナーを開催（108名受講）（高知県）

企画観光部観光地域振興課
（地元自治体）

- ・観光客が快適に過ごせる「しかけ」づくり及び地域の「もてなし」意識の向上を図る。

- <香川県内>
- ・瀬戸内国際芸術祭2010の開催期間中に、高松を訪れた観光客を対象に、玉藻公園披雲閣「檜の間」において無料のくつろぎスペース「おもてなし庵」を解説し、邦楽演奏をはじめ、折り紙や書道、茶道など、日本の伝統的風習や文化が体験できる催しを実施。（高松市観光振興課）

- <愛媛県内>
- ・20年度に市内の交通拠点や観光施設等に「匂のみかんの木」を展示することで、みかんの色・味・形・匂い・花等を活用した雰囲気づくりを実施。（みかんのまちの雰囲気づくり）（松山市）
 - ・20年度に「観光国際化セミナー」…愛媛県、松山商工会議所と連携し、主に旅館・ホテルの従業員を対象に挨拶・応対を中心とした語学講座を実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
 - ・20年度にタクシー乗務員を対象におもてなし能力の向上を目指した研修を行う。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
 - ・20年度に地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺において、おもてなし活動（記念品の配布、観光案内等）を毎週土曜日夕方に実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
 - ・20年度から坊っちゃんやマドンナに扮した街角案内人を、道後周辺や松山城周辺に配置し、雰囲気作りや観光客へのサービス向上を図る。また、21年度から新たなおもてなし策として、GW、夏休み、年末年始等に道後温泉地区で松山にゆかりのある人物や伝説を題材とした寸劇、紙芝居等を実施。（街角案内人委託事業）（松山市）
 - ・21年度にマドンナバス（市内観光バス）を土・日・祝日のみの運行から、年末年始以外は毎日運行とし、ルートの変更を行うなど、市内2次交通の充実を図ると共にきめ細やかなサービスを提供する。（観光ループバス運行事業）（松山市）
 - ・22年度に市内の交通拠点や観光施設等に「匂のみかんの木」を展示

することで、みかんの色・味・形・匂い・花等を活用した雰囲気づくりを行っている。【みかんのまちの雰囲気づくり事業】(23年度事業廃止)

- ・22年度に「観光国際化研修」…観光業務に従事する旅館・ホテルの従業員を対象に、挨拶・応対を中心とした中国語の語学研修を実施。また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・22年度に市内のタクシー乗務員を対象におもてなし能力の向上を目指した研修を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・22年度に地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺において、子どもたちが観光案内や自ら作成したちらし等を配布するなど、観光客へのおもてなし活動を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・22年度に坊っちゃんやマドンナに扮した街角案内人を、道後周辺や松山城周辺に配置し、雰囲気作りや観光客へのサービス向上を図る。また、道後温泉地区で、GW、夏休み、年末年始等に松山にゆかりのある人物や伝説などを題材とした寸劇、紙芝居等を実施。【街角おもてなし事業】
- ・22年度にマドンナバス(市内観光バス)を年末年始以外は毎日運行とし、市内2次交通の充実を図ると共に、車内における案内業務等きめ細やかなサービスを提供。【観光ループバス運行事業】
- ・22年度に武道館跡地、中央浄化センターを利用した臨時駐車場の開放、駐車場マップやチラシ配布による周辺駐車場の案内など、バスや自家用車の観光客増加に対応した駐車場対策を行う。【観光客利用駐車場対策事業】(松山市) (23年度事業廃止)
- ・23年度に「観光国際化研修」…観光業務に従事する旅館・ホテルの従業員を対象に、挨拶・応対を中心とした中国語の語学研修を実施。また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。【観光おもてなし対策事業】(松山市)
- ・23年度に市内のタクシー乗務員を対象におもてなし能力の向上を目指した研修を実施。【観光おもてなし対策事業】(松山市) (24年度事業廃止)
- ・23年度に地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺において、子どもたちが観光案内や自ら作成したちらし等を配布するなど、観光客へのおもてなし活動を実施。【観光おもてなし対策事業】(松山市)
- ・23年度に坊っちゃんやマドンナに扮した街角案内人を、道後周辺や松山城周辺に配置し、雰囲気作りや観光客へのサービス向上を図る。また、道後温泉地区で、GW、夏休み、年末年始等に松山にゆかりのある人物や伝説などを題材とした寸劇、紙芝居等を実施。【街角おもてなし事業】(松山市)
- ・23年度、マドンナバス(市内観光バス)を年末年始以外は毎日運行とし、市内2次交通の充実を図ると共に、車内における案内業務等きめ細やかなサービスを提供。【観光ループバス運行事業】(松山市)
- ・24年度、マドンナバス(無料周遊観光バス)を年末年始以外は毎日運行とし、松山城周辺にある魅力ある観光施設を巡る2次交通を充実させた。24年4月1日から、市内中心部へとコースを変更し、無料で乗車できるようになった。【お城下ループバス運行事業】(松山市)
- ・交流ボランティアのための語学講座
 地域での交流やボランティア活動に市民の「外国語能力」を活かせるよう、語学とコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催し、ボランティアガイドとして活動してもらうなど、市民参加を促進する。(ボランティアガイド登録者数(現状値90名、25年度講座開催全90回 参加者:韓国語42名、中国語15名、英語174名、計231名)【(公財)松山国際交流協会運営補助事業】((公財)松山国際交流協会)
- ・25年度、安全にサイクリングに親しみ、コースの魅力やお勧めスポットを紹介するガイドを養成し、サイクリング人口の拡大を図

るため「サイクリングガイド養成講習」（参加者15名）を今治市において実施した。（愛媛県）

<高知県内>

- ・24年2月に高知市及び四万十市において国際観光受入研修を開催（高知県）
- ・23年度に観光ガイドサポーターづくり「町内版土佐っ歩」の実施（地域住民の意識啓発）（高知市）
- ・23年10月に全国龍馬ファンのつどいの開催（高知市）
- ・23年11月に龍馬の言葉プロジェクトの実施（中心街に龍馬の言葉を染め抜いたフラフを展示し、街の雰囲気醸成する）（高知市）
- ・24年9月と25年3月観光ガイドサポーターづくり「町内版土佐っ歩」の実施（地域住民の意識啓発）（高知市）
- ・24年4月～25年3月に「龍馬の言葉プロジェクト」路面電車つり革広告事業実施（高知市）
- ・24年11月に「龍馬の言葉プロジェクト」の実施（中心街に龍馬の言葉を染め抜いたフラフを展示し、街の雰囲気醸成する）（高知市）
- ・25年9月と26年3月観光ガイドサポーターづくり「町内版土佐っ歩」の実施（地域住民の意識啓発）（高知市）
- ・25年9月～25年12月観光ボランティアガイドの養成として「土佐観光大学」開講（主体：高知市観光協会）

・観光案内板等の整備

- ・21年度に県内の交通拠点や観光スポット等に、外国語併記の観光案内板を追加設置するとともに、外国語併記の歓迎表示板を新たに設置。（香川県）
- ・22年度に外国人観光客の利便性・満足度の向上を図るため、「徳島県徳島市、鳴門市、松茂町及び高知県高知市、南国市における外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査」を実施し、携帯端末を利用した実証実験や電子看板、バス車内モニター、停留所、各種案内板、観光マップの整備を行った。
- ・22年度に外国語（4カ国語）併記の基本案内表示シールを作成し、県内の主要観光施設等に配布、活用。（徳島県）
- ・瀬戸内国際芸術祭2010の開催に合わせ、舞台となった男木島、女木島に外国語併記のQRコード付観光案内板を設置し、島を訪れる観光客の利便を図った。（高松市観光振興課）
- ・24年1月に徳島駅付近の観光案内板（英語・中国語（繁体字）・韓国語による多言語対応済み）に、中国語（簡体字）を追加するとともに、内容を更新（徳島県）
- ・第11回アジア太平洋盆栽水石高松大会の開催に合わせ、舞台となった鬼無地区、国分寺地区に外国語併記の観光案内板を設置し、地域を訪れる観光客の利便を図った。（高松市観光振興課）
- ・23年度に広域観光案内板7基設置（高知県）
- ・23年4月に龍馬の生まれたまち記念館内案内外国語音声ガイドの導入（英語・韓国・中国・台湾）（高知市）
- ・24年度に訪日外国人旅行者の受入環境整備地方拠点事業を高知、鳴門・南あわじ、松山において実施。外国人旅行者の利便性の向上、広域的な周遊環境の整備等を図った。
- ・24年3月に高速道路利用者のため、愛媛県内のSAに設置する観光案内板と、香川県との県境にある観光標識をリニューアルした。（愛媛県）
- ・24年度に広域観光案内板5基設置、ほか移設（板面リニューアル）1基（高知県）
- ・サンポート周辺のマンホールに高松らしさをイメージしたデザインを装飾し、絵柄の中にQRコードを刷り込み、観光名所等を紹介するホームページに導く仕組みを付加した。（高松市）
- ・国の重要文化財を受けた披雲閣を中心とする高松城跡（玉藻公園）への観光客増加を図るため、新たに観光案内板を設置した。（高松市）

		<ul style="list-style-type: none"> ・ JR高松駅前の観光情報の拠点となる「高松市インフォメーションプラザ」への誘導を目的とする指示標識看板を設置した。(高松市) ・ 瀬戸内海国立公園指定80周年に伴い、観光客に屋島での観光を楽しんでいただくために、屋島山上に設置されている看板を修繕した。(高松市) ・ 24年度に「愛媛マルゴト自転車道」構想により設定された26コースを対象にブルーラインの整備を図っており、25年度までに2コースが完了している。(愛媛県) ・ 25年度に広域観光案内板1基設置、誘導標識4基設置、ほか広域案内板移設1基、標識盤面張替1基(高知県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24年3月、(社)愛媛県観光協会と(社)愛媛県物産協会が合併し、団体機能を強化するとともに、観光及び物産情報を一元化することで観光客等の利便性向上を図った。(社)愛媛県観光物産協会) ・ 24年8月、愛媛県の観光と物産の新たな情報発信拠点として「えひめ愛顔の観光物産館」が松山市中心部にオープンした。(社)愛媛県観光物産協会) ・ 24年1月からスマートフォンアプリ「ふらっと案内」を利用した観光情報「ふらっとうどん県」の運用を開始した。(香川県観光振興課) ・ 24年12月、四国の歴史文化の魅力を効果的に伝えるスマートフォンアプリ「四国歴史文化道」を制作、発信。(歴史・文化道推進協議会) ・ 観光・商業施設等が外国人観光客の受入れを行う際に通訳サービスを有料で受け入れる「多言語コールセンターを介した通訳サービス(中・英・韓)」「ボランティア通訳派遣制度(中)」を実施するとともに、外国人向け観光案内所(K-TiC)を設置し、情報提供を実施した。(香川県観光振興課) ・ 訪れる外国人観光客に対しておもてなしの心でコミュニケーションを取ることができる観光案内スタッフ(中国語・英語・日本語通訳)を配置した。(徳島市) ・ 24年4月に徳島市と周辺11市町村の観光情報の発信や収集を一元的に管理できる拠点施設として、徳島駅前アミコビル内に、徳島市広域観光案内ステーション「とくしま旅づくりネット」を整備(徳島市) ・ バス、フェリー、航空会社、観光協会、ボランティア団体等を構成員とした電動バイク等観光レンタル事業推進協議会を立ち上げ、電動バイク20台及び電動アシスト自転車20台を導入しレンタル事業を開始した。(徳島市) ・ 20年2月に高知県で観光ガイドタクシー認定試験を実施。19年度、20年度で186名認定。 ・ 21年度83名認定 ・ 22年度46名認定、有効期間満了者(3年)3月19日更新認定予定 ・ 23年度27名認定 ・ 24年度25名認定(新規)、更新認定は3月予定 	<p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (関係観光協会等)</p> <p>(観光協会) (タクシー協会)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体機能の強化 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信拠点の整備 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯端末(スマートフォン)を活用した観光情報の提供 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人向け観光案内所の開設等 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内スタッフの配置 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光案内ステーションの開設 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動バイク等観光レンタル事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地の周遊性等を高めるため電動バイク等観光レンタル事業を開始 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光ガイドタクシー認定制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ “おもてなし”における比較優位を目指した接客技術の向上とホスピタリティに富む観光案内業務を組み入れた観光ガイドタクシー認定制度を導入する。 			

		<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイドの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地の満足度向上において重要な役割を担う観光ガイドの充実を図るため「土佐観光大学」を開講 ・「四国観光地域づくりセミナー」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・24年9月より通称を「おもてなしタクシー」とし、12月にはJR高知駅前のこうち旅広場駐車場に専用乗り場を増設 ・24年11月よりタクシー・ハイヤーの接客向上を目指したアンケート調査等を実施（26年3月末まで） ・おもてなしタクシーの25年度認定新規認定72名、更新認定は2月下旬 ・「おもてなしタクシー」の「龍馬パスポート」への参画（利用の場合、スタンプ押印の対象とした）（25年9月1日から） ・21年9月（12月迄）「土佐観光大学」を開講し、観光ボランティアガイド50名を養成。（高知市） ・徳島市において、観光ガイドボランティアの養成。平成22年7月（平成23年2月迄）「とくしま観光ガイドボランティア第4期生養成講座」を開講し、観光ガイドボランティア18名を養成。 ・徳島市において、観光ガイドボランティア養成講座を開講し、観光ガイドボランティア17名を養成した。 ・徳島市において、「観光ガイドボランティア第6期生養成講座」を開講し、観光ガイドボランティア11名を養成した。 ・徳島市と周辺11市町村からなる徳島東部地域の魅力を積極的にアピールするとともに、心温かいもてなしのできる「とくしま観光サポーター」を養成している。 ・24年12月、今治市で、四国の魅力を案内できる人材の育成と観光客受入体制の強化を図るため、「四国観光達人」や観光ボランティアガイドを対象に「四国観光地域づくりセミナー」を実施した。（（社）愛媛県観光物産協会、（社）日本観光振興協会） 	<p>（地元自治体）</p>
26	<p>観光2-2-(3) 高齢者等の受け入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化の促進 ・観光施設等についてのバリアフリー情報の提供 ・高齢者等にとって魅力的な観光プランの設定 ・観光案内・介護等のボランティア組織・仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け観光プランの設定 ・公共交通機関における介助者の配置 ・バリアフリー観光の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け企画商品の開発 ・ソフト面からのバリアフリー化を推進するために、サービス介助士を配置する。 ・高齢者、障害者等を対象としたバリアフリー観光をめざしたバリアフリー調査を実施する。 ・表彰 ・フォーラム開催 ・研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジパング倶楽部」等の販売 ・17年度に高松駅など21駅7運転区所に、サービス介助士の資格所 得者38名を配置。 ・18年度JR主要28駅7運転区所にサービス介助士55名を配置。 19年度に増員。4大駅及び坂出駅にAEDを各1台配備。 ・20年度に、サービス介助士31名を配置。20年5月に瓦町駅にAED1 台を配備。（高松琴平電気鉄道） ・20年度は車いす利用者を対象とした聞き取り及び現地調査を実施 ・23年9月に「愛媛バリアフリー観光案内所」開設。（愛媛県） ・24年3月バリアフリー観光の推進に寄与した事業者等を1社表彰し た。 ・24年9月に道後温泉誇れるまちづくり推進協議会が「観光のユニバ ーサルデザイン化と道後まちづくり」フォーラムを開催。 ・24年9月に観光・宿泊施設、交通機関、飲食店等の従業員、観光ボ ランティアなどの旅行者に直に接する機会のある者を対象とした 「高知県障害者サポート研修」を実施。25年3月に第2回目を予定（高 知県） ・25年11月に観光・宿泊施設、交通機関、飲食店等の従業員、観光ボ ランティアなどの旅行者に直に接する機会のある者を対象とした 「高知県障害者サポート研修」を実施。26年2月に第3回目を予定 	<p>（旅行者）</p> <p>（交通事業者）</p> <p>交通環境部消費者行政課 企画観光部観光地域振 興課 （地元自治体） （関係観光協会等）</p>

				(高知県)	
27	<p>観光2-2-(4) 外国人客の誘致と来訪促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 四国における国際観光を推進し、統一的な受入れ体制整備のための官民による協議機関の設立 国際定期便を活用した誘客事業、四国内の各空港の連携による国際チャーター便の運航の増加など外国とのアクセス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ビジット・ジャパン・キャンペーンの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 2010年に訪日観光客を1000万人とすべく韓国、中国、台湾等東アジアを中心に戦略的かつ効果的な訪日キャンペーンを地元自治体等と連携し実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 春の桜開花時期に合わせ台湾－高松間のチャーター便を実現。さらに秋便などへの拡大を目指し、17年9月に台湾旅行社等の招聘・新聞広告事業を実施。また、台湾における四国の知名度を高めるために、17年9月に台北旅行博に出展、11月に台湾TV局の番組取材を実施。18年11月にも台北旅行博に出展。 17年11月に中国から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフォーラム」として商談会を開催。 17年11月に四国の観光イメージを印象づけるため、阿波おどりや高知よさこい踊りの連を派遣して、韓国旅行会社向けに四国観光セミナーを実施。 18年1月にNPOらと連携し韓国からの教育旅行誘致事業を実施。 18年3月に高知龍馬空港～松山空港間の広域観光ルートをPRするため、台湾マスコミを招聘。 18年5月にASPAC高松大会において、四国の祭りの披露等で四国の観光魅力をPR。 18年5月及び10月に韓国からのゴルフツアー誘客のため日韓ゴルフ大会を実施。また、韓国からマスコミを招聘し帰国後現地でPR。19年は4月及び11月に実施。 18年10～11月に中国・韓国から政府関係者・旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフォーラム2006」を開催するとともに四国全体の商談会を実施。 18年度に韓国から教育関係者を招聘し香川県、愛媛県を視察旅行(18年7月ソウル－高松定期便利用、18年8月～19年2月ソウル－松山定期便利用)。 映画UDONの公開にあわせ、シンガポールで四国ツアーの販売支援。 19年7～8月に韓国の教育関係者及び旅行会社を招聘、松山空港イン、高松空港アウトによる韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。 19年8月にNPOと連携し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。 19年10～11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、高知市で「四国インバウンドフォーラム2007」を開催、四国全体の商談会を実施。 19年10月に韓国の旅行会社等を招聘、高松空港イン、松山空港アウトによる韓国からのインバウンド商品化事業を実施。 19年12月に台北国際旅行博出展。 20年5月に台北観光博覧会出展 20年6月及び8月に、韓国の教育旅行関係者を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。 20年7月に、中国・韓国・台湾のマスコミと中国の旅行会社を対象とした瀬戸内海クルーズインバウンド商品化事業を実施。 20年7～8月に中国の旅行会社を招請し、中国(上海)から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。 20年7月に韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。 20年8～9月及び12月に、韓国の旅行会社等を招請し、アジアナ航空を利用した韓国からのインバウンド商品化事業を実施。 20年10～11月に、台北国際旅行博に出展。 20年11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフェア2008」を開催、四国全体の商談会を実施。 阿波おどり会館や眉山ロープウェイに外国語で観光案内ができる案内員を配置し、外国人観光客への対応も含め、観光情報の提供活動 	<p>企画観光部国際観光課 (地元自治体) (関係観光協会等)</p>

・ビジット・ジャパン事業の推進

・訪日外国人旅行者を2020年に2500万人、将来的に3000万人とするべく、効果的・効率的なプロモーションを展開。

- も実施。(徳島市)
- ・英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語の観光パンフレットを作成。(徳島市)
- ・20年8月からアートの切り口で直島やイサムノグチ庭園美術館など世界的な観光資源を巡るため、高松市を滞在の拠点とすべく、検索キーワード広告によるブログサイト「アート・ハブ・シティー高松」を立ち上げ情報発信を強化している。(高松市)
- ・英語・韓国語・中国語(簡体字)・ドイツ語・中国語(繁体字)のダイジェスト版のパンフレットや、ポスター等を作成。(報道機関・印刷物等による宣伝事業)(松山市)
- ・21年8月に、中国の旅行会社を招請し、中国(上海)から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・21年10月に、韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・21年10月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・21年10～11月に、台北国際旅行博に出展。
- ・四国内の主な観光・宿泊・体験施設等を掲載した観光情報誌(繁体字版)を作成。
- ・21年11月に、中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、高松市で「四国インバウンドフェア2009」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・22年1月に、韓国のメディア等を招請し、TVショッピングによる広告宣伝を行ない、瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・22年5月に台湾、11月に英、独、豪のメディア等を招請し、カヌー・サイクリング等の体験を切り口に四国の魅力を発信する「瀬戸内しまなみ海道と幡多観光圏の四国特選アウトドア誘客促進事業」を実施。
- ・22年7月に米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招請し、21年7月～10月に開催された「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。
- ・22年7月に、パリのジャパンエキスポに出展。10月に外国人ブロガーを招請し四国モニターツアーを実施。ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。
- ・22年8月に中国の旅行会社を招請し、中国(上海)から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・22年8月に韓国人ブロガー、11月にエージェントを招請して、瀬戸内国際芸術祭など徳島県・香川県のアート施設、観光施設・グルメを紹介し、訪日旅行促進を図るため、「韓国SIT誘客促進事業」を実施。
- ・22年9月に中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフェア2010」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・22年9月に韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・22年10月に米国・豪州の旅行会社等を招請し、ゴールデンルートからにし阿波観光圏等への観光ルートを造成するため、米国・豪州、インバウンド商品化事業を実施。
- ・22年11月に韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・22年11月に台北国際旅行博覧会に出展。
- ・22年11月に京畿国際観光博覧会に出展。
- ・22年11月に韓国の撮影クルー等を等を招請し、動画をHPに掲載して瀬戸内広域観光ルートの商品の販売、誘客促進を図るインバウンド商品化事業を実施。
- ・23年2月に香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」「グルメ」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター

- 便運航誘致・誘客促進事業を実施。
- ・23年3月に韓流スター「カン・ジファン」氏の旅番組の制作支援を行う韓国スクリーンツーリズム促進事業を実施。
- ・21年度より継続して、阿波おどり会館や眉山ロープウェイに外国語で観光案内ができる案内員を配置し、外国人観光客への対応を含め、観光情報の提供活動を22年度も実施。(徳島市)
- ・ひょうたん島周遊船ガイドパンフレットの英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語を作成。(徳島市)
- ・22年8月に韓国内の青少年育成団体の教育旅行を受入。(徳島県)
- ・従来の欧米向けブログに加えて、23年2月から中国語韓国語版のブログを作成し、アジア圏へのさらなる情報発信の強化に努めている。(高松市観光振興課)
- ・英語・韓国語・中国語(繁体字)・ドイツ語・中国語(繁体字)のダイジェスト版のパンフレットや、ポスター等を作成した。【報道機関・印刷物等による宣伝事業】
- ・台湾からの誘客促進及び台北市との交流拡大を図ることを目的とし、台湾観光交流訪問団の派遣、台湾台北市及び台湾観光協会及び航空会社等関係機関への訪問活動を実施。また、台湾政府関係者を招聘し、チャーター便の就航増便及び台北松山空港との直行便に向けた松山旅行商品開発を行う。【国際観光客誘致促進事業】(松山市)
- ・23年5月、震災後初めてとなる海外からの旅行会社招請を実施(台湾の旅行会社9社15名)し、旅行商品造成と誘客促進に努めた。
- ・23年5月、韓国からメディアを招請し、瀬戸内のアートをテーマにしたSIT客誘致に向けたツアーを実施した。(旅行会社向け視察旅行は10月に実施)
- ・23年6月、香港国際旅遊展(ITE2011)に四国として初めて出展し、祖谷地方や足摺エリアを四国の秘境としてPRした。
- ・23年6月、FIT層を対象としたツアーをPRするため、台湾からメディア10名を招き、アート・グルメをテーマにしたツアーを実施した。
- ・23年6月、パリのジャパンエキスポにおいて四国ブースを出展し、四国遍路文化や瀬戸内アート、うどんなど四国の観光をPRした。
- ・23年7月、韓国から旅行会社を招請し、四国とソウルを結ぶ国際航空路線を活用した魅力的な旅行商品造成を図った。
- ・23年7月、韓国ソウル及び釜山で教育旅行セミナーを開催して現地旅行会社に四国の情報発信を行った。
- ・23年7月、上海から旅行業者を招請し中国・四国にまたがる広域観光エリアの商品造成を図った。
- ・23年8月、四国インバウンドフェア2011の一環として、5カ国のメディアを招請して四国の2大夏祭り(よさこい祭り・阿波踊り)で四国の魅力を海外にPRした。
- ・23年9月、四国インバウンドフェア2011で韓国を始めとする5カ国の旅行会社を招請して視察旅行と旅行商談会を実施した。
- ・23年9月、海外から欧米を中心としたメディア5名を招請し、四国一周のサイクリングイベント取材を通して、四国をサイクリングの適地として海外にアピールした。
- ・23年9月、中国青島市から旅行会社等11名を招請して四国の視察旅行を行い、観光地としての魅力をPRした。
- ・23年10月、しまなみと足摺エリアを中心とした地域に台湾・欧米の旅行会社を招請し、アウトドア等の体験型旅行をPRした。
- ・23年10月、四国をPRするため、中国テレビ局を招請して3週間にわたり四国各県の取材を実施した。(翌年3月に現地でテレビ放映)
- ・23年10月、中国南京市及び上海市において教育旅行誘致のための現地セミナーを開催した。
- ・23年10月、ドイツからメディアと旅行会社を招請して四国の視察旅行を実施し四国のPRと商品造成を図った。
- ・23年11月、フランスからブロガー5名を盆栽・茶道研修ツアーに招待し、四国での体験の様子をがブログを通じて世界に発信した。
- ・23年11月、各県観光協会が中心となって台北国際トラベルフェア

- (ITF2011)に出展し、四国の観光地をPRした。
- ・23年12月、韓国から教育旅行関係者を招き、中高生を対象とした教育旅行誘致に向けた視察ツアーを実施した。
- ・23年12月、香港からテレビ局を招請し、にし阿波地区を中心とした観光地の取材を実施した。(放送は12月から1月に実施)
- ・23年10月、徳島県湖南省訪問団の派遣にあわせ、同省長沙市及び張家界市で、観光商談会の開催や阿波踊りの披露等の観光プロモーションを実施。(徳島県)
- ・24年1月から中国湖南省の長沙黄花国際空港と徳島阿波おどり空港とを10日に1度の頻度で結ぶ定期チャーター便が就航。(徳島県)
- ・23年7月から中国春秋航空による高松～上海定期チャーター路線開設を実現。(高松市観光振興課)
- ・英語・韓国語・中国語(簡体字)・ドイツ語・中国語(繁体字)のダイジェスト版のパンフレットや、ポスター等を作成した。
- 【報道機関・印刷物等による宣伝事業】(松山市)
- ・台湾からの誘客促進及び台北市との交流拡大を図ることを目的とし、台湾観光交流訪問団の派遣、台湾台北市及び台湾観光協会及び航空会社等関係機関への訪問活動を実施。また、台湾政府関係者を招聘し、チャーター便の就航増便及び台北松山空港との直行便に向けた松山旅行商品開発を行う。
- 【国際観光客誘致事業】(松山市)
- ・23年11月、英語、中国語、韓国語の3カ国語表記による歴史文化道パンフレットを作成、配布。(歴史・文化道推進協議会)
- ・台湾と四国を結ぶ航空路線開設を踏まえ、25年8月、平成23年度に作成したパンフレットをベースに、中国語について繁体字を使用したバージョンを新たに作成、配布。(歴史・文化道推進協議会)
- ・24年度VJ地方連携事業
四国運輸局は24年5月から25年3月にかけて、ビジット・ジャパン地方連携事業として19事業を実施し、重点市場の4ヶ国・地域(韓国、中国、台湾、香港)を中心とした海外9市場から187名のメディア・旅行エージェントを招請して四国の視察ツアーを実施した。また、徳島市でオール四国の旅行商談会を開催(9月)した他、昨年引き続き香港国際旅遊展(6月)及び台北国際旅展(10月)に四国ブースを出展して四国の観光資源をPRした。
- ・24年11月、シンガポールの「雑誌社 Feeling」によるメディアファームを実施。(徳島県)
- ・24年12月、徳島県・にし阿波観光圏等が連携して誘致していたEGLツアーズがチャーター便ツアーを実施。(徳島県)
- ・25年1月、ベトナムで開催された日本文化紹介イベント「ジャパンスタイルフェア」に出展。阿波踊りを披露し、徳島の食をPR。(徳島県)
- ・25年度VJ地方連携事業 **資料3-6**
25年6月から26年1月にかけて、ビジット・ジャパン地方連携事業として15事業を実施し、重点市場の4ヶ国・地域(韓国、中国、台湾、香港)を中心とした海外8市場から143名のメディア・旅行エージェントを招請して四国の視察ツアーを実施した。また、香川県でオール四国の旅行商談会を開催(11月)した他、昨年引き続き香港国際旅遊展(6月)及び台北国際旅展(10月)に四国ブースを出展して四国の観光資源をPRした。
- ・25年5月、台湾(台北駅)で開催された「日本の観光・物産博2013」に出展。映像やパンフレットによる観光PRとともに、県産品の試飲・試食等を実施。(徳島県)
- ・25年7月～8月、徳島県・にし阿波観光圏等が連携して誘致していた香港EGLツアーズによるチャーター便(12便)が就航。(徳島県)
- ・25年8月、シンガポールで開催された旅行博「NATASフェア」に、関西国際空港等との連携により出展。(徳島県)
- ・25年10月及び26年3月に愛媛松山空港と台北松山空港間直行チャーター便が運航された。【国際観光客誘致促進事業】(松山市)

		<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による「All SHIKOKU Rail Pass」の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国ツーリズム創造機構及び四国旅客鉄道（株）を始めとする四国内の鉄道会社6社は、外国人旅行者が1枚の切符で四国内のすべての鉄道を自由に乗り降りできるパス「ALL SHIKOKU Rail Pass」を設定し、24年4月から販売を開始したところ、初年度販売目標500枚に対して25年2月8日に累計1000枚に達するなど台湾の個人旅行者を中心に受け入れられている。 ・25年12月末に2000枚を突破。(2097枚) ・四国の販売促進に効果的なツールとしてV J 事業でも活用している。 ・四国旅客鉄道（株）との連携により、インバウンド旅行者（個人・団体）を対象に平成25年4月1日より、松山～呉～広島航路のフェリー・スーパージェットが割引運賃で利用できるようになっていく。(石崎汽船(株)、瀬戸内海汽船(株)) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪日教育旅行を促進するための地域協議会を設立し受入体制の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19年2月に4県の教育委員会、国際観光担当課、観光協会等で構成される「四国地域訪日教育旅行促進協議会」を設立し、受入窓口を一本化、また海外からの受入可能校等調査を19年夏までに実施することを決定。 ・ 18年度から中国・台湾からの小中高校生の教育旅行の受入開始。(高知県) ・ 20年2月に第2回四国地域訪日教育旅行促進協議会を開催、海外からの受入可能校等の調査結果等の情報の共有化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19年2月に4県の教育委員会、国際観光担当課、観光協会等で構成される「四国地域訪日教育旅行促進協議会」を設立し、受入窓口を一本化、また海外からの受入可能校等調査を19年夏までに実施することを決定。 ・ 18年度から中国・台湾からの小中高校生の教育旅行の受入開始。(高知県) ・ 20年2月に第2回四国地域訪日教育旅行促進協議会を開催、海外からの受入可能校等の調査結果等の情報の共有化を図った。 	<p>企画観光部国際観光課 (地元自治体) (関係観光協会等)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療観光の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な医療サービスと豊かな地域資源を活用した「徳島ならではの」糖尿病検診等を組み合わせた観光誘客（医療観光）を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 22年3月に上海から旅行会社等を招聘し、医療観光モニターツアーを実施。(徳島県) ・ 22年4月に官民一体となって医療観光を推進するため、「医療観光PT」を設置。5月に上海で「観光商談会」を開催し、旅行商品造成を促し、5月と10月に医療観光ツアー受入を行った。(徳島県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 22年3月に上海から旅行会社等を招聘し、医療観光モニターツアーを実施。(徳島県) ・ 22年4月に官民一体となって医療観光を推進するため、「医療観光PT」を設置。5月に上海で「観光商談会」を開催し、旅行商品造成を促し、5月と10月に医療観光ツアー受入を行った。(徳島県) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光圏整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光立国実現に向けて、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、複数の観光地が連携して、内外の観光客による2泊3日以上滞在型観光を目指す「観光圏」の整備を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年度は徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取組む「にし阿波観光圏」が認定された。 ・ 21年度は「にし阿波観光圏」の整備に向け、官民一体となって各種事業に取り組んだ。(徳島県) ・ 21年度は高知県の四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村の3市2町1村が連携して取組む「四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏」が認定された。 ・ 22年度は香川県内全域8市9町が連携して取り組む「香川せとうちアート観光圏」及び広島県の尾道市、愛媛県の今治市、上島町の2市1町連携して取り組む「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定された。 ・ 22年度は「観光地域づくりプラットフォーム」である「一般社団法人そらの郷」を設立し、体験型教育旅行をはじめ観光を軸とした地域振興を推進。(徳島県) ・ 「香川せとうちアート観光圏」の整備・推進のため、官民一体となって、各種圏域の魅力アップ事業に取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 23年度の「香川せとうちアート観光圏」の重点テーマとして、着地主導による「着地型旅行商品」の提供（販売）による、誘客・滞在促進を掲げ、着地型旅行商品を企画・販売するための組織づくりと着地型旅行商品を集約・PR・販売できるシステムの導入に取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 24年度の「香川せとうちアート観光圏」の重点テーマとして、滞在型観光の推進と、受入体制の整備に関する事業を実施することを掲げ、周遊観光ツールの作成とそれを活用した周遊観光促進キャンペーンに取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 25年度は新方針により徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年度は徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取組む「にし阿波観光圏」が認定された。 ・ 21年度は「にし阿波観光圏」の整備に向け、官民一体となって各種事業に取り組んだ。(徳島県) ・ 21年度は高知県の四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村の3市2町1村が連携して取組む「四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏」が認定された。 ・ 22年度は香川県内全域8市9町が連携して取り組む「香川せとうちアート観光圏」及び広島県の尾道市、愛媛県の今治市、上島町の2市1町連携して取り組む「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定された。 ・ 22年度は「観光地域づくりプラットフォーム」である「一般社団法人そらの郷」を設立し、体験型教育旅行をはじめ観光を軸とした地域振興を推進。(徳島県) ・ 「香川せとうちアート観光圏」の整備・推進のため、官民一体となって、各種圏域の魅力アップ事業に取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 23年度の「香川せとうちアート観光圏」の重点テーマとして、着地主導による「着地型旅行商品」の提供（販売）による、誘客・滞在促進を掲げ、着地型旅行商品を企画・販売するための組織づくりと着地型旅行商品を集約・PR・販売できるシステムの導入に取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 24年度の「香川せとうちアート観光圏」の重点テーマとして、滞在型観光の推進と、受入体制の整備に関する事業を実施することを掲げ、周遊観光ツールの作成とそれを活用した周遊観光促進キャンペーンに取り組んだ。(香川県観光振興課) ・ 25年度は新方針により徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよ 	

				<p>し町の2市2町が連携して取組む「にし阿波～剣山、吉野川観光圏」が認定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 25年度も引き続き「香川せとうちアート観光圏」の重点テーマとして、滞在型観光の推進と、受入体制の整備に関する事業を実施することを掲げ、周遊観光ツールの作成とそれを活用した周遊観光促進キャンペーンに取り組んだ。(香川県観光振興課) 	
28	<p>観光2-2-(5) 観光アクセスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港等交通拠点からのアクセス利便性の向上 域内のアクセスの向上 的確なアクセス情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通活性化総合プログラム 観光アクセス向上事業 総合交通情報提供システムの実現 バスロケーションシステム導入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 域外交流の拡大や空港の地域振興の拠点化等に向けて、課題・施策メニューを整理し、その実現を図る。 観光二次交通の整備が必要でかつ実施可能な箇所で行われる、アクセスルート整備のモデル事業に対し、広告宣伝費等の一部を支援。 四国バス総合情報提供システムの活用により、利用者への情報提供の促進を図る。 携帯電話等からバス情報の検索可能なロケーションシステムの導入。 	<ul style="list-style-type: none"> 16年度に、「四国の空港を核とした地域活性化」、「えひめ町並博2004を契機とした、まちづくり支援と公共交通活性化」、「高知の玄関拠点と観光施設との接続・連携による域内交通の活性化」、「昔ながらの湯けむりとホテルのまちなみを紡ぐ街道の復活」等で検討。 17年度に「四国の4空港における連携と広域交流の拡大」、「温泉とうだつと空港の周遊ルートの形成」、「しまなみ海道の活性化」、「高知都市圏における観光と中心市街地と交通の一体化による地域活性化」で検討。 18年度に「しまなみ海道の活性化」、「四国西南部の地域活性化」で検討。 「さぬき路周遊チケット」(17年度) 「屋島周遊キップ」(17年度)(香川県) 「ことでん屋島山上シャトルバス」(18年度～、21年度からは土日祝日について往路・復路各4便増便) 「琴平空港線」(18年度) 「徳島県・観光ガイドタクシー」(18年度)(徳島県) 「阿波池田駅・大歩危駅と祖谷、大歩危間のシャトルバス」を運行。(18年度) 高知県において、観光アクセスバス「MY遊バス(五台山・桂浜コース)」(16年7月～)、「MY遊バス四万十周遊バス(中村駅～江川崎駅コース)」(18年4月～)運行。 「松山城下めぐりきっぷ」の販売(伊予鉄道) 高知県において観光ガイドタクシーの運行(20年6月～) 周遊観光バス「しまんと・あしずり号」を運行。(21年7月～) 瀬戸内国際芸術祭きっぷ JR/ことでん/ことでんバス(2/20～11/4 ¥2,200-) (ことでんバス) 「ことでん屋島山上シャトルバス」(18年度～、21年度からは土日祝日について往路・復路各4便増便、25年3月20日～11月4日は、土日祝日のみJR高松駅発着あり(往路・復路各5便)(高松市) 18年8月30日から四国バス総合情報システム「四国バスNet」の運用を開始。 17年度より「たかまつバスロケーションシステム」を導入。 16年度より「とくしまバスナビ」を運用 	<p>企画観光部交通企画課 観光地域振興課 (大阪航空局) (地元自治体) (交通事業者) (観光事業者)</p> <p>交通環境部情報調査官 鉄道部計画課 自動車交通部旅客課 海事振興部旅客課 (交通事業者) (交通事業者団体)</p> <p>(四国地方整備局) (地元自治体) (交通事業者)</p>
29	<p>観光2-2-(6) 観光コンベンションの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> コンベンション誘致のための情報収集と蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> コンベンション主催団体等への誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏等への誘致活動 国際会議等の誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏での誘致懇談会に出席し、PRブースを設け誘致活動を実施。また、首都圏、関西、名古屋に所在するコンベンション主催者や四国四県の大学を中心に、誘致訪問。 全国大会や国際会議等の主催者に対する誘致活動や、県内で開催さ 	<p>(各観光コンベンション・ビューロー)</p> <p>(地元自治体)</p>

				<ul style="list-style-type: none"> れる全国大会等への助成を実施。 ・20年7月に、高松市において「国際会議観光都市連絡協議会」を開催し、JNTOの国際コンベンション誘致事業についての説明・意見交換等を行った。 ・20年度11月に、アジア太平洋盆栽水石大会のキーパーソンを招請し、2011年の高松市での開催に向けて誘致活動を実施。 ・21年12月に、高松市において「第25回日韓観光振興協議会」（22年）を開催。 ・21年11月に、高松市において「アジア太平洋盆栽水石大会」（23年11月）の開催が決定。 ・23年11月に高松市において「アジア太平洋盆栽水石大会」を開催した。（香川県観光振興課） ・22年度よりJNTO主催の国際会議海外キーパーソン招請事業に参加し、視察旅行の受け入れを行っている。（高松市） ・23年2月「Meet Japan 2011」参加（高松市） ・25年3月「Meet Japan 2013」参加（高松市） ・26年3月「Meet Japan 2014」参加（高松市） 	企画観光部国際観光課 （高松観光コンベンション・ビューロー）
30	<p>観光2-3-(1) 観光資源の保全、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問者が地域の観光資源の保全、観光地の美化に協力できるようなシステムの創設 ・地域の観光資源の保全等の取り組みの推進 ・地域ごとの保全計画の策定 ・保全実施組織の整備 ・環境NPO活動の支援 ・環境保全に協力する旅行者の登録・組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋島の再生計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光名所である屋島には、景観を損なう廃屋が数件撤去されずに残っている。これらを撤去するとともに、住民参加のもと、自然とふれあい・学びあえる屋島を再生する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度に源平屋島活性化推進協議会内に「屋島再生計画検討委員会」を設置し、同年8月に「屋島再生基本方針」を策定した。今後、基本方針を具現化していく。 ・19年2月に環境省が屋島地区の再整備基本構想研究会を発足。 ・23年7月に「屋島会議」が発足し、屋島の活性化について協議した。（高松市観光振興課） ・24年7月に「屋島活性化シンポジウム～世界に誇れる「屋島」を目指して～」を開催した。（高松市観光交流課） ・24年11月に「屋島会議」において「屋島活性化基本構想（仮称）」に盛り込むべき事項をまとめた最終報告を提出した。（高松市） ・25年3月に「屋島活性化推進計画」を策定した。以降、計画に基づき、各種事業を実施。（高松市） ・25年度「屋島活性化キャンペーン事業」の一環として、屋島のキャッチフレーズやシンボルマークなどを決定した。（高松市） ・25年度屋島山上の廃屋跡地利活用事業により、土地の整備等を行った。（高松市） ・屋島の魅力を広く発信するとともに、観光客の利便性向上を図るため、屋島の観光スポットをわかりやすく掲載したパンフレット（一般向け、子ども向け）を作成した。（高松市） 	（環境省） （地方自治体） （協議会）
31	<p>観光2-3-(2) 地域の食材を活かした「もてなし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」を絡めた観光ルートを設定し、四国の「食」のアピール ・四国をイメージできる土産の創意、工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルネサンス事業による観光地支援 ・「食」を絡めた観光ルートの設定 ・四国の「食」のアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・松山の味として相応しい「料理」や「食材」を開発し、外国人観光客に「松山の味」を味わっていただくため、メニューの多言語化を含めた登録店制度を構築する。 ・特急列車でゆく四国各地の温泉、グルメ等「あじな散歩道」発売 ・女性同士でゆくプチ旅行「マドンナ倶楽部」販売 ・着地型旅行商品「ぷち旅プラン」の販売を開始。 ・アンテナショップの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度に観光ルネサンス事業において、松山の味を広めるため、「瀬戸のまつやま・海ごはん」として「鯛めし」「たこめし」「あなごめし」を提供できる登録店の募集を19年3月から開始。 ・定番の約70コースに加え、季節限定コースを設定。 ・旬の味覚と温泉10コースと季節限定コースを設定。 ・「美食プラン」を設定。（高松観光コンベンション・ビューロー） ・首都圏、名古屋で開設し、特産品の販売や郷土料理の提供及び観光 	<p>企画観光部観光地域振興課</p> <p>（観光協会）</p> <p>（旅行者）</p> <p>（旅行者）</p> <p>（観光協会）</p> <p>（地元自治体）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・「新鮮なっ！とくしま」キャラバン隊の派遣 ・駅弁の開発・販売当地がイメージできる駅弁の開発及び販売 ・めん喰らう香川演出事業 ・さぬきうどんを活用し、香川県の認知度を高めるとともに、提携商品の造成等を行って、誘客促進を図る。 ・麺くらって、魚として鳥だい香川グルメ演出事業 ・地場の食材を活かした食づくり ・とくしまマルシェの開催 ・「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトの実施 ・土佐の豊穰祭の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の発信を行っている。 ・15年3月からアンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」を新橋に出店 ・20年3月に全国初となるコンビニエンスストア内の都道府県アンテナショップ「徳島アンテナショップ」をローソン虎ノ門巴町店内にオープン。 ・22年10月にトモニHDが企画・支援する「徳島・香川トモニ市場」(有楽町)を徳島県のアンテナショップ「阿波とくしまアンテナショップ」に認定。 ・22年8月にアンテナショップ「まるごと高知」を銀座にオープン。 ・25年3月22日に二号店となる、コンビニエンスストア内の都道府県アンテナショップ「徳島アンテナショップ」をローソン飯田橋三丁目店内にオープン。(徳島県) ・25年12月に徳島県商工会連合会が企画・支援する「ええもんあるでえ徳島」(銀座)を徳島県のアンテナショップ「阿波とくしまアンテナショップ」2号店に認定。(徳島県) ・17年1月より新鮮な野菜・魚介類を全国各地の量販店やイベント会場に持ち込み、魅力をPR。 ・讃岐とりめし弁当、お遍路さん弁当など製造、販売。 ・18年度に子供向けに「アンパンマン弁当」を新製。 ・17年度上期(4月～9月)の観光客誘致のため、うどん店巡りのスタンプラリーを実施。「うどん百店満点」の増刷。(香川県) ・さぬきうどん、瀬戸内の地魚、骨付鳥の魅力を情報発信。(各パンフレット、映画UDONの公開を活用したPRなど)(香川県) ・ちりめん井(安芸市)、春告げ御膳(室戸市)、田舎寿司ほか ・高知B級グルメ維新 しらすラーメン、なるこ井(高知市) ・徳島産のこだわりの農産物や加工品をパラソルショップで販売するとくしまマルシェを、毎月最終日曜日に徳島市内で開催。(徳島県) ・23年10月に「うどん県。それだけじゃない香川県」をキャッチフレーズに観光・県産品キャンペーンを開始した。(香川県観光振興課) ・23年10月に開始した「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトを24年度も引き続き実施し、観光・県産品・アートなどの情報発信を行った。(香川県観光振興課) ・25年度は「アート」と「うどん県・時間旅行物語」をテーマとして、情報発信を行った。(香川県観光振興課) ・「うどん県。それだけじゃない香川県」イベントとして琴平・屋島・栗林公園・玉藻公園エリアで「うどん県・時間旅行物語」(25年7月1日～12月1日)を開催した。(香川県観光振興課) ・24年9月～11月に県内7会場で土佐の豊穰祭を開催。(土佐の豊穰祭推進会議、県内関係団体) ・25年9月～11月に県内7会場で土佐の豊穰祭を開催。(土佐の豊穰祭推進会議、県内関係団体) 	<ul style="list-style-type: none"> (徳島県) (食品会社) (香川県観光協会) (香川県観光協会) (地元関係者)
--	--	--	--	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・「第7回B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリ」でブロンズグランプリ（第3位）を獲得 ・観光キャンペーン「リョーマの休日～高知家食卓～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・24年10月、今治のソウルフード「今治焼豚卵飯」がこれまでの普及活動の結果、北九州市で開催された「第7回B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリ」でブロンズグランプリ（第3位）を獲得した。（今治焼豚卵飯世界普及委員会） ・26年4月から、高知の食資源を前面に打ち出した観光キャンペーン「リョーマの休日～高知家の食卓～」を展開予定。その皮切りとして、25年12月から26年1月にかけて、観光客にお薦めしたい飲食店を選ぶ「『高知家の食卓』県民総選挙」を実施（高知県） 	
3 2	<p>観光2-3-(3) テーマ性を持たせた観光ルートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光テーマの設定による広域観光ルートや滞在型観光交流空間の整備 ・体験を通じて風俗・歴史・文化を味わえるコースの設定 ・複数の市町村の連携による新しいツーリズムに対応した観光地の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化総合プログラム ・テーマ性のある観光ルートの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光ルートづくりを行い、同ルートに観光アクセスバスを運行する。 ・観光周遊バスの運行 ・観光周遊船の運航 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年3月から「湯けむり・うだつ・空港観光交流促進委員会」において、香川、徳島の県境を跨ぐ高松空港～塩江～脇町～JR穴吹駅間に、観光アクセスバス「ゆう湯う空港バス」を運行。 ・17年度にNHK大河ドラマ「義経」の放映に合わせ、観光周遊バス「義経号」を運行。 ・18年度にも牟礼・庵治を巡る「昭和のげんぺい号」を運行。 ・庵治、牟礼ぐるりんバスの運行。 ・金刀比羅宮「参拝登山バス」の運行。 ・うどんバス、うどんタクシーの運行。 ・「坂の上の雲」ゆかりの地を巡るマドンナバスを松山市内で運行。 ・20年4月から通年で、土・日・祝の10：00～15：00に市内の観光名所を巡る「ぐるぐるバス」を運行している。徳島市日本観光旅館連盟と共催。一周約40分で無料。（徳島市） ・21年度から着地型旅行商品「ぶち旅プラン」の販売を開始した。プランには「美食プラン」も設けられている。（高松観光コンベンション・ビューロー） ・松山市に隣接する東温市や砥部町と連携し、モデルコースやパンフレットを作成することにより体験型観光を提供した。（広域観光連携事業）（松山市） ・バスガイド付き「土佐・龍馬であい博号」を運行（21年12月～23年3月） ・23年9月から讃岐うどん味めぐり「ぐるりんつるりんうどんBUS」を3コース運行。（香川県観光振興課） ・バスガイド付観光バス「龍馬ふるさと博号」を運行。（23年4月～24年3月） ・23年9月から運行している讃岐うどん味めぐり「ぐるりんつるりんうどんBUS」をリニューアルし、24年10月より3コース運行している。（香川県観光振興課） ・徳島市と周辺11市町村の魅力発信や特産品等のPRにつなげるため、関西圏等に在住のお客様対象に、徳島東部地域の観光スポットを巡り、本場徳島の阿波おどりのご当地体験などを取り入れた日帰りバスツアーを実施した。（徳島市） ・25年11月から「讃岐うどん処めぐり」2コースを運行。（香川県観光振興課） ・新町川と助任川の中州部分を「ひょうたん島」と名付け無料の周遊船を運航している（保険料100円のみ）。観光シーズンは市が委託しているが、その他のシーズンはNPO法人新町川を守る会がボランティア運行している。1周約30分。（徳島市） ・うみがめマリンクルーズの運航を開始。（徳島県） 	<p>企画観光部交通企画課 （地元自治体） （交通事業者） （地元関係者） （観光事業者）</p> <p>（地元自治体） （交通事業者）</p> <p>（地元自治体） （地元関係者）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ S L 列車の運行 ・ 四国霊場八十八ヶ所巡り関連旅行商品 ・ 旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘し、モニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬戸内国際芸術祭2010の開催に伴い、瀬戸内海を巡るクルージングツアーを実施。(観光事業者)(高松市観光振興課) ・ サンポート高松港発着瀬戸内海クルーズを実施。(高松観光コンベンション・ビューロー) ・ 瀬戸内海国立公園に指定されている北条鹿島を1周する周遊船を実施。(松山市) ・ 18年度のNHK大河ドラマ「功名が辻」の放映に合わせ、11月に S L 急行「土佐二十四万石博一豊&千代号」を運行。 ・ 四国霊場八十八ヶ所巡りのタクシープランや日帰りバスプランを発売。 ・ 19年11月に「花・人・土佐」であい博のプレ事業のうち県西部及び塩の道事業について旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘したモニターツアーを開催。 ・ 徳島市において、「とくしま観光おもてなし会議」を開催した。テーマは着地型観光プランの造成について。既存の体験ツアー等の観光素材を旅行業関係者にモニターしてもらい、着地型観光商品としての可能性を探る。 ・ 「とくしま体験観光モニターツアー」周辺市町村と連携し、体験観光、グルメなどを取り入れた広域的なモニターツアーを2回実施。22年7月、阿波おどり体験ツアー(1コース)22年10月と11月には農山漁村体験ツアー(3コース)を実施。(徳島市) ・ 22年度より松山市・東温市・砥部町で構成する広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」、砥部町の伝統産業である「砥部焼」と、松山市の観光資源を連携させ体験型観光を提供することで観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進する。【広域観光連携事業】(松山市) ・ 徳島市と周辺11市町村が連携した共同キャンペーンの実施や公式キャラクターを活用した観光パンフレット製作など、幅広いエリアの観光資源を活用した事業を展開した。24年6月、大阪市内で観光キャンペーンを実施(徳島市) 	<ul style="list-style-type: none"> (交通事業者) (旅行業者) (地元自治体) (地元関係者)
3 3	<p>観光2-4-(1)</p> <p>外部の人の四国の観光に対するニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四国の注目されている観光地や潜在的ニーズの把握 ・ 地域資源を観光ニーズに合わせて客観的に評価する手法の整備 <p>・ 全国都市再生モデル調査</p> <p>・ 地方の元気再生事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通活性化総合プログラム ・ 旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘しモニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。 ・ 旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘し、モニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17年9月及び11月に「しまなみ海道活性化委員会」、「湯けむり・うだつ・空港観光交流促進委員会」において、モニターツアーを実施。 ・ 18年9月及び18年10月に「四国西南部活性化委員会」、「しまなみ海道活性化委員会」において、モニターツアーを実施。 ・ 19年9月～10月に「四国西南部活性化委員会」において、18年に作成した切符の活用について検証するためモニターツアーを実施。 ・ 17年11月に旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「光のまち阿南ルミナスツアー」及び一般市民を対象とした「阿南の秋を感じる旅」の計3回のモニターツアーを開催。 ・ 18年11月に、旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「東かがわ・引田まるごと体感ツアー」を開催。 ・ 19年11月に、旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「室戸癒しのまちづくり体験ツアー」を開催。 ・ 祖谷の伝統文化・萱葺き集落など多様な資源を活用した各種体験プログラムモニターツアーを開催(三好市)。 ・ 20年11月～12月にかけて、関東・関西から健康に関心のあるメタボの方をモニター募集し、海洋深層水を活用したモニターツアー(健康観光)を開催。(室戸市商工会) ・ 21年度は祖谷の文化・伝承の掘り起こしと体験プログラムの商品化 	<ul style="list-style-type: none"> 企画観光部交通企画課 観光地域振興課 (地元自治体) (交通事業者) (地元関係者) (観光事業者) 企画観光部交通企画課 (観光協会) 企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (地元関係者)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアホリデー 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方に長期滞在できるよう、都市住民と地域コーディネータを結びつけるため、地域のボランティアメニューをポータルサイトで広報し、交流をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> をを目指す実験ツアーを開催した。(三好市) ・21年11月～22年2月にかけて、モニターによる超長期滞在プログラムを実践し、体質の変化と精神状態等の変化を検証した。(室戸市商工会) ・とくしま体験観光モニターツアー」周辺市町村と連携し、体験観光、グルメなどを取り入れた広域的なモニターツアーを2回実施。22年7月、阿波おどり体験ツアー(1コース)22年10、11月には農山漁村体験ツアー(3コース)を実施。 ・23年3月に愛媛県の「食」や「伝統的特産品」等を照会するサイト「愛媛いいもの図鑑」開設。(愛媛県) ・17年度はボランティアホリデーの定着を目指し、コーディネーターの研修の実施や運営に関するガイドラインを策定。 	<p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (地元関係者)</p>
3 4	<p>観光2-4-(2) 四国に関するイメージの形成・情報の発信・誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国の地域情報、観光情報、交通情報等を整備・発信し、プロモーションを展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッションの活動 ・観光地域づくり実践プランへの支援 ・ホームページの充実、強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興・映像文化の発展を図り、地域の活性化を支援する。 ・単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。 ・ホームページの観光情報を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各県の「ロケーション・サービス事務局」を中心に映像制作会社へロケ誘致を働きかけ、映画・ドラマ等のロケーションを支援。 ・17年に高松市で、18年2月に徳島市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」を開催。 ・19年3月に高松市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」及び「全国フィルムコミッション連絡協議会中国四国ブロックセミナーin高知」を開催。 ・21年3月に高松市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」を開催。 ・20年度から民間の経済活動の中で、高松のイメージアップや集客力を高める独創的な事業を公募し、公開プレゼンテーションを経て認定し、支援する「高松観光プロモーション事業」を実施している。各年度とも提案事業のうち、5事業を認定。(高松市) ・23年2月に松山市において「映画・映像作品が興す四国の可能性～ジャパン・フィルムコミッション四国ブロックセミナー～」を開催 ・17年3月、幡多観光情報発信事業調査において、観光資源等の情報発信に係る基礎データの収集等の調査を実施。 ・四国ツーリズム創造機構、各県観光協会等のホームページで観光情報を掲載。 ・四国運輸局においても、18年4月にホームページのリニューアルを実施。 ・19年4月に四国88NAVI(ローカル列車・バスで巡る四国お遍路&観光)の開設。 ・20年2月にホームページ「阿波ナビ」のリニューアルを実施。(徳島県) ・20年度11月に総合交通観光サイト等に四国4県のレンタサイクル一覧を掲載。(毎年度、追跡調査を行い、年度末にデータを更新) ・ウェルカム!四国で、四国の情報を総合発信。 ・22年2月にホームページ「阿波ナビ」にロコミサイト「もっと!!阿波ナビ」を新たに追加。(徳島県) ・22年3月に四国運輸局ホームページのリニューアル(トップページに「更新情報」欄や当局からのお知らせを掲載する「テロップ」の新設等)を実施。 ・22年8月、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」内に新コンテンツ「阿波おどりナビ」を開設。(徳島県) ・23年7月、ホームページのトップページに「がんばろう!日本」、「V 	<p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (フィルムコミッション)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (協議会)</p> <p>総務部広報対策官</p> <p>交通環境部情報調査官 (四国ツーリズム創造機構) (各県観光協会) (四国経済連合会)</p>

			<p>ISIT JAPAN 2011」、「コグウェイ四国」のバナーを貼付し、情報を発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> 23年12月に香川県の観光ポータルサイトを「うどん県旅ネット」として全面リニューアル。(香川県観光振興課) 24年5月、ホームページに「観光イベント情報」を開設、「総合交通観光サイト」のリンク先に観光協会を追加。 24年11月、『「平清盛」瀬戸内連携推進会議』のバナーを貼付し、情報を発信。 24年9月、中国の料理研究家を招聘し、医療観光をはじめとする「徳島の観光地や食の魅力」を情報発信。(徳島県) 24年11月および25年1月、県内高等教育機関への留学生等を対象とした観光モニターツアーを実施し、SNSで情報発信。(徳島県) 24年11月、外国人への観光情報発信を目的として多言語メールマガジン「とくしま国際観光メールマガジン」の配信を開始。日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、ドイツ語の5種類を配信。(徳島県) 25年1月、外国人への観光情報発信を目的としてFacebookページ「Discover Tokushima」の運用を開始。(徳島県) 創造都市の実現に向けた各種取組や魅力を発信するため、facebook(フェイスブック)により、祭り・イベントなどの情報を発信。(高松市) 24年8月、愛媛県観光ホームページ「いよ観光ネット」を、イベントカレンダー機能、マイルートガイド機能などを追加し、リニューアルした。(愛媛県) <ul style="list-style-type: none"> 25年4月に「Japan Videos」のバナーを貼付し、情報を発信。 25年7月に「タビカレ」のバナーを貼付し、情報を発信。 25年3月、10月及び26年2月、県内高等教育機関への留学生等の在住外国人を対象に観光モニターツアーを実施。参加者のSNSを通じて情報発信。(徳島県) 25年4月、「とくしま国際戦略センター」ホームページを開設。観光情報をはじめ、在住外国人支援、国際ビジネス等の外国人向け情報をワンストップで発信。(徳島県) 25年8月、中国の料理研究家等による視察ツアーを実施。観光視察とともに料理をテーマとした交流を実施し、徳島の魅力を情報発信。(徳島県) 25年11月、韓国ブロガーによるファムツアーを実施。県内の観光地を巡り、各参加者のブログ等を通じて情報発信。(徳島県) <ul style="list-style-type: none"> 17年度に東京、大阪で開催。 大阪、福岡において、観光説明会を実施。「(ようこそ松山)賑わい創出事業」(松山市) 松山市が連携し策定した事業で開設した「観光コンシェルジュホームページ」の維持管理を実施。(観光まちづくり推進事業)(松山市) 21年度より「松山の物産と観光展」(新宿区、札幌市)や「松山DAY in 神宮球場観光キャンペーン」を(財)松山観光コンベンション協会と連携して実施。(財)松山観光コンベンション協会運営補助事業)(松山市) 22年度より四国県都四市が連携しながら、それぞれの観光資源を活用しつつ効果的かつ効率的なキャンペーン活動を展開。【四国四市観光誘致促進協議会事業】(松山市) 	
<ul style="list-style-type: none"> 商品説明会の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社の商品企画担当者を招聘し、四国の新しい情報を提供する。 		(四国ツーリズム創造機構等)
<ul style="list-style-type: none"> 癒しの四国観光推進事業 		<ul style="list-style-type: none"> 本四三橋時代の四国広域観光の一層の振興を図るため、四国4県とJR四国が一体となり、積極的に観光客の誘致宣伝に努めるほか、本四三橋を利用した観光ルートの定着と四国 	<ul style="list-style-type: none"> 四国観光シンポジウム開催。(17年)(18年7月)(19年7月) 5連ポスターJR全国主要駅掲出。(18年6月)(20年2月) 旅フェアへの出展。(17年)(18年4月)(19年4月) 愛知万博参加「四国の日」開催。(17年5月)(延べ約1万人集客) JAL麗らか四国キャンペーン。(17年4月～6月)(18年4月～6月) 	(四国ツーリズム創造機構)(航空事業者)

		<p>・観光PRの実施</p>	<p>八十八ヵ所などの豊富な観光資源を生かした観光ルートの整備に努める。</p> <p>・観光PRキャラバン隊などを活用し、県内外に観光情報を発信。</p> <p>・Layarアプリを活用し、観光情報を提供</p> <p>・ゆるキャラグランプリで、グランプリを獲得</p>	<p>(19年5月～7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANA誘遊四国キャンペーン。(17年12月～18年3月)(18年12月～19年3月)(19年12月～20年3月) ・四国観光プロモーション会議開催。(17年10月)(18年10月) ・「四国で得するパスポート」作成・配布。 ・17年11月に韓国で四国観光プロモーション会議を開催。 ・5連ポスターJR主要駅掲出(20年8月) ・旅フェアへの出展(20年6月) ・JAL麗らか四国キャンペーン(20年5月～7月) ・ANA誘遊四国キャンペーン(20年12月～21年3月) ・四国観光プロモーション会議開催(19年10月)(20年10月) ・JAL麗らか四国キャンペーン(21年5月～7月) ・旅フェアへの出展(21年6月) ・21年7月31日「四国観光立県推進協議会」を発展的に解消し、より官民一体となった新たな広域観光推進組織である「四国ツーリズム創造機構」を設立。 ・四国観光商談会開催(21年10月) ・ANA誘遊四国キャンペーン(21年12月～22年3月) ・5連ポスターJR主要駅掲出(22年1月) <p>・えひめ観光イベントPRキャラバン隊を結成し、愛媛県の魅力、観光地・イベントなどを県内外に発信した。(H21.6～)(愛媛県)</p> <p>・23年5月に上海市で開催された「上海大学生テレビ祭」に出展し、「マチ☆アソビ」をはじめアニメに関する本県観光資源をPR(徳島県)</p> <p>・23年8月の中国湖南省からの訪問団の来県にあわせ、同省衛星放送の取材スタッフを招聘し、阿波踊り本番の魅力を発信。(徳島県)</p> <p>・都内で愛媛県観光と物産をPRする「愛媛県観光・物産PRイベント首都圏開催事業」を実施した。【23年～】(愛媛県)</p> <p>・24年度より「かがわ源平紅白キャラバン隊」を結成し、香川県の魅力、観光地、イベントなどを県内外に発信した。(香川県)</p> <p>・屋島の特性や魅力を県内外に広く発信するため、かがわ源平紅白キャラバン隊によるパフォーマンスや琵琶演奏等のイベントを香川県との連携により、屋島山上で実施した。(高松市)</p> <p>・短時間で高松の魅力に共感し、来訪したくなるような観光PR映像(DVD)を作成した。(高松市)</p> <p>・25年5月よさこい親善大使認定(よさこい祭り第60回記念、よさこい発祥の地高知PR等(高知市))</p> <p>・23年9月にLayarアプリを活用し、愛媛県の観光情報を提供する「GEN1,000愛媛」開設。(愛媛県)</p> <p>・24年11月、観光情報の発信ツール・今治のゆるキャラ「バリエィさん」が、「ゆるキャラグランプリ2012」の人気投票において、グランプリ(第1位)を獲得した。(愛媛県)</p>	
35	<p>観光2-5-(1)</p> <p>広域のかつ一体的な連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な地域連携・モード間連携・地域内連携の強化 	<p>・ビジット・ジャパン・キャンペーンの推進</p>	<p>・「四国ツーリズム創造機構」「四国ブロック広域観光振興事業推進協議会」等の組織と連携し、県境を越えた広域のかつ一体的な取組として招聘事業等を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・17年9月に台湾市場に向け香川・鳥取間の広域観光ルートを提案。季節チャーター便の継続的運行を目指し、台湾旅行社等の招聘・新聞広告事業を実施。 ・17年11月に中国から旅行会社等を招聘。四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフォーラム」として商談会を開催し、旅行商品造成を促す。 ・17年11月に四国の観光イメージを印象づけるため、阿波おどりや高知よさこい踊りの連を派遣して、韓国旅行会社向けに四国観光セミナーを実施。 ・17年9月に台湾における四国の知名度を高めるために、四国全体で 	<p>企画観光部国際観光課(自治体)(関係観光協会)(旅行業者等)</p>

- 台北旅行博に出展、また11月に台湾TV局の番組取材を実施。18年11月にも台北旅行博に出展。
- 18年3月に台湾に向け高知～愛媛間の広域観光ルートをPRするため、台湾マスコミを招聘。
- 18年度に香川、鳥取の季節チャーター便の継続運航を目指し、現地でプロモーション、共同広告。
- 18年度にアメリカの教育旅行関係者、ドイツのマスコミを招聘。
- 18年度にアジアナ航空便にリムジンバスを接続運行。
- 18年4月及び9月に本部事業と連携して、海外旅行エージェントを対象に徳島～愛媛、高知～香川を巡るファムトリップを実施。
- 18年7月に台湾の旅行雑誌「TOGO」記者を招き、四国四県の観光施設を取材、その成果として四国特集号を発行。
- 18年10月～11月に中国・韓国から政府関係者・旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフォーラム2006」を開催するとともに四国全体の商談会を実施。
- 19年4月及び11月に本部事業と連携して、海外旅行会社等を対象に愛媛～高知、香川～徳島を巡るファムトリップを実施。
- 19年7～8月に韓国の教育関係者及び旅行会社を招聘、松山空港イン、高松空港アウトによる韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- 19年10～11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、高知市で「四国インバウンドフォーラム2007」を開催、四国全体の商談会を実施。
- 19年10月に韓国の旅行会社等を招聘、高松空港イン、松山空港アウトによる韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- 19年12月に台北国際旅行博出展。
- 20年5月に台北観光博覧会出展
- 20年6月に韓国の教育旅行関係者を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- 20年6月及び10月に本部事業と連携して海外旅行会社等を対象に、愛媛～高知、徳島～香川を巡るファムトリップを実施。
- 20年7～8月に中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- 20年7月に韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- 20年7月に中国・韓国・台湾のマスコミと中国の旅行会社を対象とした瀬戸内海クルーズインバウンド商品化事業を実施。
- 20年8～9月及び12月に、韓国の旅行会社等を招請し、アジアナ航空を利用した韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- 20年10月に米・豪の旅行会社等を招請し、「日本の秘境・祖谷を奥座敷とした四国文化探訪の旅」をテーマに視察旅行を実施し、四国の知名度向上とツアー造成促進事業を実施。
- 20年11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフェア2008」を開催、四国全体の商談会を実施。
- 21年7月にパリのジャパンエキスポに出展及び21年10月に、外国人ブロガーを招請し四国モニターツアーを体験してもらい、ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。
- 21年8月に中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- 21年8月に上海・蘇州の旅行会社等を招聘して、松山～上海便を利用した旅行商品の造成を促進する中国インバウンド商品化事業を実施した。（愛媛県）
- 21年9月に台湾・香港の旅行エージェント、マスコミを対象とした瀬戸内広域連携「瀬戸内周遊 美術・グルメの旅」商品造成事業を実施した。（愛媛県）
- 21年9月～10月に台湾・香港の旅行会社等を招請し、瀬戸内地域へ

- の誘客を図るための「瀬戸内周遊 美術・グルメも旅商品造成事業」を実施。
- ・21年10月に米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招請し、22年7月～10月に直島を始めとする7つの島と高松を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。
 - ・21年10月に米国・豪州の旅行会社等を招請し、にし阿波観光圏と瀬戸内海アートの旅をテーマとした観光ルートを造成するためインバウンド商品化事業を実施。
 - ・21年10月に韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
 - ・21年10月に韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
 - ・21年10～11月に台北国際旅行博に出展。
 - ・21年11月に中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、高松市で「四国インバウンドフェア2009」を開催、四国全体の商談会を実施。
 - ・22年1月にTVショッピングによる広告宣伝を行なうため韓国のメディアを招請し、瀬戸内海への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
 - ・22年3月に台湾のメディアを招請し、香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター便運航誘致・誘客促進事業を実施。
 - ・22年1月に広島県・山口県と連携し、韓国テレビ局関係者等を招聘し、愛媛～広島～山口の旅行商品の造成を促進する韓国インバウンド商品化事業を実施した。(愛媛県)
- ・22年5月に台湾、11月に英、独、豪のメディア等を招請し、カヌー・サイクリング等の体験を切り口に四国の魅力を発信する「瀬戸内しまなみ海道と幡多観光圏の四国特選アウトドア誘客促進事業」を実施。
 - ・22年7月に米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招請し、22年7月～10月に開催された「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。
 - ・22年7月にパリのジャパンエキスポに出展、10月に外国人プロガーを招請し四国モニターツアーを実施、ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。
 - ・22年8月に中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
 - ・22年8月に韓国人プロガー、11月にエージェントを招請して、瀬戸内国際芸術祭など徳島県・香川県のアート施設、観光施設・グルメを紹介、訪日旅行促進を図るため、「韓国SIT誘客促進事業」を実施。
 - ・22年9月に中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフェア2010」を開催、四国全体の商談会を実施。
 - ・22年9月に韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
 - ・22年10月に米国・豪州の旅行会社等を招請し、ゴールデンルートからにし阿波観光圏等への観光ルートを造成するため、米国・豪州、インバウンド商品化事業を実施。
 - ・22年11月に韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
 - ・22年11月に台北国際旅行博覧会に出展。
 - ・22年11月に京畿国際観光博覧会に出展。
 - ・22年11月に韓国の撮影クルー等を等を招請し、動画をHPに掲載して瀬戸内広域観光ルートの商品の販売、誘客促進を図るインバウンド商品化事業を実施。
 - ・23年2月に香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」「グルメ」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター便運航誘致・誘客促進事業を実施。
 - ・23年3月に韓流スター「カン・ジファン」氏の旅番組の制作支援を

・ビジット・ジャパン事業の推進

・「四国ツーリズム創造機構」「四国ブロック広域観光振興事業推進協議会」等の組織と連携し、県境を越えた広域的かつ一体的な取組として招聘事業等を実施。

行う韓国スクリーンツーリズム促進事業を実施。
・四国として、台湾ミッション団を派遣し、チャーター便の運航の要請や現地旅行会社に対する観光説明・商談会及び物産展等を開催するなど、台湾からの送客を働きかけた。(香川県観光振興課)

- ・23年5月に震災後初めてとなる海外からの旅行会社招請を実施(台湾の旅行会社9社15名)し、旅行商品造成と誘客促進に努めた。
- ・23年5月に韓国からメディアを招請し、瀬戸内のアートをテーマにSIT客誘致に向けたツアーを実施した。(旅行会社向け視察旅行は10月に実施)
- ・23年6月に香港国際旅遊展(ITE2011)に四国として初めて出展し、祖谷地方や足摺エリアを四国の秘境としてPRした。
- ・23年6月にFIT層を対象としたツアーをPRするため、台湾からメディア10名を招き、アート・グルメをテーマにツアーを実施した。
- ・23年6月にパリのジャパンエキスポにおいて四国ブースを出展し、四国遍路文化や瀬戸内アート、うどんなど四国の観光をPRした。
- ・23年7月に韓国から旅行会社を招請し、四国とソウルを結ぶ国際航空路線を活用した魅力的な旅行商品造成を図った。
- ・23年7月に韓国ソウル及び釜山で教育旅行セミナーを開催して現地旅行会社に四国の情報発信を行った。
- ・23年7月に上海から旅行業者を招請し中国・四国にまたがる広域観光エリアの商品造成を図った。
- ・23年8月に四国インバウンドフェア2011の一環として、5カ国のメディアを招請して四国の2大夏祭り(よさこい祭り・阿波踊り)で四国の魅力を海外にPRした。
- ・23年9月に四国インバウンドフェア2011で韓国を始めとする5カ国の旅行会社を招請して視察旅行と旅行商談会を実施した。
- ・23年9月に海外から欧米を中心としたメディア5名を招請し、四国一周のサイクリングイベント取材を通して、四国をサイクリングの適地として海外にアピールした。
- ・23年9月に中国青島市から旅行会社等11名を招請して四国の視察旅行を行い、観光地としての魅力をPRした。
- ・23年10月にしまなみと足摺エリアを中心とした地域に台湾・欧米の旅行会社を招請し、アウトドアー等の体験型旅行をPRした。
- ・23年10月に四国をPRするため、中国テレビ局を招請して3週間にわたり四国各県の取材を実施した。(翌年3月に現地でテレビ放映)
- ・23年10月に中国南京市及び上海市において教育旅行誘致のための現地セミナーを開催した。
- ・23年10月にドイツからメディアと旅行会社を招請して四国の視察旅行を実施し四国のPRと商品造成を図った。
- ・23年11月にフランスからブロガー5名を盆栽・茶道研修ツアーに招待し、四国での体験の様子をブログを通じて世界に発信した。
- ・23年11月に各県観光協会が中心となって台北国際トラベルフェア(ITF2011)に出展し、四国の観光地をPRした。
- ・23年12月に韓国から教育旅行関係者を招き、中高生を対象とした教育旅行誘致に向けた視察ツアーを実施した。
- ・23年12月に香港からテレビ局を招請し、にし阿波地区を中心とした観光地の取材を実施した。(放送は12月から1月に実施)

・24年度VJ地方連携事業
四国運輸局は24年5月から25年3月にかけて、ビジット・ジャパン地方連携事業として19事業を実施し、重点市場の4ヶ国・地域(韓国、中国、台湾、香港)を中心とした海外9市場から187名のメディア・旅行エージェントを招請して四国の視察ツアーを実施した。また、徳島市でオール四国の旅行商談会を開催(9月)した他、昨年引き続き香港国際旅遊展(6月)及び台北国際旅展(10月)に四国ブースを出展して四国の観光資源をPRした。

・25年度VJ地方連携事業

資料3-6

	<ul style="list-style-type: none"> ・観光圏整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立国実現に向けて、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、複数の観光地が連携して、内外の観光客による2泊3日以上滞在型観光を目指す「観光圏」の整備を促進。 	<p>25年6月から26年1月にかけて、ビジット・ジャパン地方連携事業として15事業を実施し、重点市場の4ヶ国・地域(韓国、中国、台湾、香港)を中心とした海外8市場から143名のメディア・旅行エージェントを招請して四国の視察ツアーを実施した。また、香川県でオール四国の旅行商談会を開催(11月)した他、昨年引き続き香港国際旅遊展(6月)及び台北国際旅展(10月)に四国ブースを出展して四国の観光資源をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年度は徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取組む「にし阿波観光圏」が認定された。 ・21年度は高知県の四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村の3市2町1村が連携して取組む「四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏」が認定された。 ・22年度は香川県内全域8市9町が連携して取り組む「香川せとうちアート観光圏」及び広島県の尾道市、愛媛県の今治市、上島町の2市1町連携して取り組む「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定された。 ・25年度は新方針により徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取組む「にし阿波～剣山、吉野川観光圏」が認定された。 	<p>企画観光部観光地域振興課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくり実践プランへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化総合プログラムの活用により、広域的な地域連携の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通安全総合プログラムの活用により、広域的な地域連携の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年6月に愛媛県南予地域及び高知県西南部の地域を対象に、観光交流の拡大に向けて検討を行う四国西南部活性化委員会を設置し、広域連携を図る。 	<p>企画観光部観光地域振興課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な地域連携による取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国四都市共同観光宣伝事業 四国の県庁所在地4都市が連携して観光宣伝活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国四都市共同観光宣伝事業 四国の県庁所在地4都市が連携して観光宣伝活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度は愛地球博にキャラバン隊を派遣。 ・19年度は福岡市、熊本市において学校関係者への観光説明会を実施した。 ・20年度は四市協同観光パンフレットを作成し、神戸市、広島市において、四市キャンペーンレディーによるマスコミ・エージェント各社訪問、街頭宣伝を実施した。 ・21年度は「ウェルかめ」「坂の上の雲」「龍馬伝」などのドラマが放送されたことを契機に、四国内の地域交流人口の増大につなげるため、四国県都4市における観光キャンペーンを実施。(徳島市) ・26年1月に25年度四国四市共同観光キャンペーン(「ふるさと祭り東京2014—日本のまつり・故郷の味—」への参加)(高知市) 	<p>(地元自治体)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内四都市広域観光推進事業 鳴門市、琴平町、倉敷市及び神戸市の4都市が連携して観光PRを行い、高速道路や瀬戸内海航路を使用した4都市周遊型の観光商品(瀬戸内4景めぐり)を協働して開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内四都市広域観光推進事業 鳴門市、琴平町、倉敷市及び神戸市の4都市が連携して観光PRを行い、高速道路や瀬戸内海航路を使用した4都市周遊型の観光商品(瀬戸内4景めぐり)を協働して開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度はクルージングモニターツアー 倉敷市にキャラバン隊を派遣し各都市のPR、首都圏における観光宣伝を実施。 	<p>(地元自治体等)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・四国県都四市観光誘致促進協議会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国県都四市観光誘致促進協議会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度より四国県都四市が相連携しながら、それぞれの観光資源を活用しつつ効果的かつ効率的な宣伝活動を展開。(四国県都四市観光誘致促進協議会事業)(松山市) ・22年度は「瀬戸内国際芸術祭2010」の開催を契機に、四国内の地域交流人口の増大につなげるため、四国県都四市における観交キャンペーンを実施。(高松市観光振興課) ・24年2月、四国四市共同観光キャンペーンとして、石川県金沢市にて観光PRを実施した。(高松市) ・25年3月、四国四市共同観光キャンペーンとして、大阪府大阪市にて観光PRを実施した。(高松市) ・26年1月、四国四市共同観光キャンペーンとして、東京都文京区東京ドームにて観光PRを実施した。(高松市) ・24年10月「中四国・瀬戸内クルージングサミット」を福山市(尾道 	<p>企画観光部観光地域振興課 (自治体)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県南予地域連携による観光振興 ・中四国・瀬戸内クルージングサミットの開催 ・AMA（阿南市、室戸市、安芸市）地域連携推進協議会が四国東南部の地域資源を活かした広域的かつ戦略的な観光・地域振興を図る事業を段階的に実施 ・クルーズ船等を活用した観光振興推進検討調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度は旅行会社・マスコミ対象のモニターツアー実施 ・HP「あまナビ」のリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> 市)において開催した。(高松市) ・25年9月「中四国・瀬戸内クルージングサミット」を高松市において開催した。(高松市) ・えひめ南予観光イベントPRキャラバン隊を結成し、愛媛県南予の魅力、観光地・イベントなどを県内外へ発信した。(22年7月～)(愛媛県) ・22年8月に瀬戸内海沿岸の三豊市、瀬戸内市、福山市、新居浜市、高松市の5市による海を生かした広域連携や地域活性化を考える第1回中四国・瀬戸内クルージングサミットを開催。(高松市観光振興課) ・23年8月第2回中四国・瀬戸内クルージングサミットを新居浜市において開催。(高松市観光振興課) ・21年8月に決定された「四国圏広域地方計画」においては、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことを目指している。 ・22年度に「クルーズ船等を活用した観光振興推進検討委員会」を設置し、航路・規制・錨泊可能場所・接岸可能場所やトイレ等の状況、観光資源、クルーズの運営に支障となっている規制、課題に関する情報等の調査や、試験的なモニターツアーを実施し、参加者アンケート調査、クルーズのモデルコースの検討を「官民連携調査」として実施し、今後の方向性及びプランの提案を行った。 ・大河ドラマ「平清盛」放送決定を契機に23年7月8日に中国運輸局、神戸運輸監理部、四国運輸局が連携して瀬戸内海地域の観光資源の発掘、情報発信、観光振興、経済活性化などを一体的・広域的に推進するため、瀬戸内連携推進会議を設立した。 ・23年11月近畿運輸局、九州運輸局が加わり瀬戸内振興に係る地方運輸局の「西日本連携組織」として第2回会議を開催。 ・瀬戸内・海の道ネットワークと連携し24年4月平清盛ゆかりの地を巡遊する「せとうち清盛マップ」を作成。 ・24年10月瀬戸内クルーズ推進セミナーを広島市で開催。 ・24年11月瀬戸内クルーズシンポジウムin神戸を共催。同日瀬戸内クルーズに出港する「にっぽん丸」の出港セレモニーを開催。 ・25年4月に「平清盛」瀬戸内連携推進会議を瀬戸内海観光連携推進会議に名称変更。 ・25年6月に「さんふらわあ ことばと」船上で”瀬戸内クルーズの魅力”と題する講演会を実施。 ・25年10月に瀬戸内クルーズセミナーを福山市で開催。 ・山の秘境の代表格である「にし阿波観光圏」と海・川の秘境の代表格である「四万十・足摺観光圏」の連携による広域観光ブランディングに関する調査を行い、四国ブロックから国内、国外へ向けたプロモーションの1つのモデルを提示することを目指す。 	<p>企画観光部交通企画課 四国ツーリズム創造機構</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (中国運輸局) (神戸運輸監理部) (近畿運輸局) (九州運輸局)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 四国ツーリズム創造機構</p>
36	観光2-5-(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・複数観光圏の連携による広域観光ブランディング調査 			

	<p>地域ぐるみの観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいツーリズムに対応した観光地の創造 ・地域一体の観光を中心とした体制と仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアホリデー ・国土施策創発調査による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方に長期滞在できるよう、都市住民と地域コーディネーターを結びつけるため、地域のボランティアメニューをポータルサイトで広報し、交流をすすめる。 ・地球環境と調和した広域集客交流等を探るため、ボトムアップによって地域単位の取組方策を積み上げ、瀬戸内海地域全体で具体的仕組み・手法を実践・検討する。 ・四国の地質資源と地域の観光資源を組み合わせた取り組みにより観光振興を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度はボランティアホリデーの定着を目指し、コーディネーターの研修の実施や運営に関するガイドラインを策定。 ・17年度に環境負荷に配慮した瀬戸内海スローツーリズム創出調査を実施。 ・19年度、室戸と佐川の地質資源を調査し、四国ジオパークの形成に向けての検討を実施。 ・20年度、四国4県の地質資源を調査し、ジオパーク構想に向けての検討を実施。 ・20年度、室戸が国内初の日本ジオパークに認定された。 ・22年度、世界ジオパークネットワーク（GGN）に加盟申請する国内候補地に選定。GGNに加盟申請。 ・23年度、室戸が国内では5件目の世界ジオパークに認定された。 ・25年度、西予市が日本ジオパークに認定された。 	<p>企画観光部観光地域振興課（地元自治体） （地元関係者）</p> <p>企画観光部観光地域振興課（中国運輸局） （農林水産省） （環境省）</p> <p>企画観光部観光地域振興課（地元自治体） （地元関係者）</p>
37	<p>観光2-5-(3) 地域の生活交通との連携の模索</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくりと一体となった交通サービスの充実 ・地域交通と観光交通の連携・仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化総合プログラム ・坂の上の雲のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交通と観光交通の連携により、地元住民と観光客の双方が活用出来る交通体系を構築する。 ・まち全体を一つの博物館として捉え、市民との創意工夫により回遊。 ・物語性のあるまちを創造する「フィールドミュージアム構想」を具現化し、まちに人の流れを創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度に「しまなみ海道活性化委員会」、「高知都市圏活性化検討委員会」などを設置し検討。 ・18年度に「しまなみ海道活性化委員会」、「四国西南部活性化委員会」などを設置し検討。 ・18年3月松山城ロープウェイ駅舎改築、交流ホールのオープン、ロープウェイ街の道路景観整備。（松山市） ・坂の上の雲ミュージアムの建設。（19年4月オープン）（松山市） 	<p>企画観光部交通企画課 観光地域振興課（地元自治体） （観光協会）</p>
38	<p>観光2-6 観光統計の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有用性の高い観光統計の整備及び分析手法の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・「宿泊旅行統計調査」の実施 ・「都道府県観光入込客統計」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の稼働率や外国人宿泊者数の調査 ・地域間の比較分析を行う等、効果的に継続的なデータの活用を可能とするため、各都道府県において「観光入込客統計に関する共通基準」による調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度に国土交通省で全国一律の観光統計の実施を検討し、19年1月から「宿泊旅行統計調査」を実施。 ・21年12月「観光入込客統計に関する共通基準」を策定。 ・22年4月より各都道府県で「共通基準」による調査の実施。 ・22年12月より観光庁において全国集計を定期的に公表。 	<p>企画観光部観光地域振興課</p>